京城日報

九月七日夕刊 (朝夕併せて八頁)

本紙定價 [illegible] 廣告料金 [illegible] 發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 [illegible]

烏蘇里方面戰報

△先遣聯隊の名譽
敵ブラゴエチエンスク方面退却

我軍の爲めにハバロフスクを占領されたる敵はブラゴエチエンスク方面に退却せり尚同市を占領せし宮內先遣聯隊長は日露戰役の際長沼挺進隊に屬し蒙古の野に奮戰せし人小倉聯隊沖天の意氣盛んなりと謂ふべし(浦鹽特電)

△ハ市俘虜鹵獲
騎兵隊野戰砲兵隊ハ市進入

ハバロフスクに於て我軍は俘虜三十五名(獨逸人を含む)小銃其他武器若干及び機關車十七輛、客車百九十五輛を鹵獲せり尚停車場には多數の鐵道材料あるも未だ其數明かならず、騎兵隊並に野戰砲兵隊は五日午後一時クラスナヤレーチカに到達したるを以て同日中にハバロフスクに進入せし事確實なり(浦鹽特電)

△我軍進擊破天荒
今回我軍の進擊行程は一日約十二里(日本里數)にして實に破天荒の進擊なり(浦鹽特電)

△ハ市敵根據地
堅固なる防禦陣地築設

哈爾賓特電＝聯合軍司令部公表＝ハバロフスクは沿海州方面に於ける敵の根據地にして最近の情報に依れば極東勞農政府の首領たるクラスノシチヨウコフ其首腦を此地に置き目下前線より敗退し來る兵員及び西方アムール方面より來れる軍隊をクラスノナレーシカ附近に集中し堅固なる防禦陣地を築設し聯合軍の來襲を待つて之を攻擊せんと企圖しつゝあるもの如し又黑龍江の防禦に關しては曩に波羅的海に於て擊沈せし獨艦の艦長以下多數獨逸海軍將校之を指揮し警備怠り無く又各艦の武裝は比較的有力なりと傳へらる敵の兵員募集はチエック軍の蹶起に刺戟して以來勞農政府は極度の努力を爲しつゝあるも其成績面白からず之が不足を補ふ爲め鮮人傭兵を募集し一日露貨卅留を給し又出發に際し三百留を支給する由なるも是等鮮人は移送せられて未だ數日を經ざるに續々引返す者多し(東京特電)

滿洲里方面戰報

△赤衞俘虜軍戰鬪繼續
ブラゴエチエンスクの赤衞軍及び獨墺俘虜軍は戰鬪繼續を決議し過激派の直營工場を閉鎖し職工を武裝せしめたり(浦鹽特電)

△鐵橋破壞五箇所
破壞されたる鐵橋は總數五箇所にして我鐵道隊は晝夜兼行修理に努めつゝあり(浦鹽特電)

△過激派我軍歡迎
共筋著電＝後貝加爾州滿洲里支隊出動の區域內に於て露國人は好意を以て我軍を迎へ秩序の回復を喜び居れるが過激派も亦我出兵布告文を歡迎しつゝあり(東京特電)

◇莫斯科包圍計畫
哈爾賓特電＝西伯利政府は十萬の兵を有しアレキシーフ將軍及びツトノフ將軍は一萬五千の精鋭を率ゐ莫斯科に向て進擊しつゝあり彼等の行動は廣くムルマン地方の聯合軍と密接なる聯絡を保ちて行はれつゝあり西伯利政府は漸次莫斯科を包圍せんとしつゝあり(東京特電)

◇東淸鐵道管理權
日本軍に歸すべしとの風說

哈爾賓特電＝東淸鐵道同盟罷業の爲め同鐵道の管理權は日本軍に歸すべしとの噂支那人及び露人の間に傳へられ爲に露貨暴落せり尚軍隊の移動は隨時行はれつゝあり(東京特電)

◇米國派遣部隊數
マーチ將軍發表＝米國の海外派遣部隊は西伯利兵と合せ八月一日迄に百六十萬人を超過せり又グレーヴス少將は幕僚と共に米軍司令官として浦鹽に着せり(華盛頓電報)

◇ホ將軍哈市行
共筋著電＝ホルワット將軍はチエック軍司令官と會見の爲め四日發哈爾賓に向へり(東京特電)

◇勞農委員會移轉
勞兵會並に極東勞農政府委員會は目下アレキセイフスカに移轉せり(浦鹽特電)

◇潜艇戰依然繼續
平均の被害毎月商船二十萬噸

共筋著電＝潜航艇戰は依然繼續し目下毎月商船二十萬噸平均の被害あり尤も英蘭海峽附近の獨艇活動は衰へたるも地中海にては尚ほ猛烈に活動しつゝあり(東京特電)

◇政友領袖會議
暫く成行を監視

政友會にては六日正午芝公園三緣亭に於いて領袖會議を開き協議の結果出兵問題は外交調查會にて決定せる範圍外に出ず特科隊の出兵は各〇〇國に亘りたる爲め大部隊の出兵の如く誤解を招きたるものと認む、又時局問題に就ては左の如き申合せを爲し三時散會せり、政府は深く考慮する處ありと信ずるを以て暫らく其の成行きを見る事に決す(東京特電)

◇棉花運賃引上
六日入電＝紐育、英國間の棉花運賃は十一月より百封度(一封度は我約百二十匁)に就き五弗七十五仙に引上たり(大阪特電)

◇江藤代議士南行
代議士江藤哲藏氏は七日午前六時半安東縣發列車にて南行せり(東京特電)

◎總監釋奠參進
既報の如く山縣政務總監は總督代理として七日午前九時半經學院に於て擧式を爲したる秋季釋奠に參進す

◎辭令
六日附左の通り辭令ありたり

總督府遞信技手 淺岡次郎
同 中村賢固
任總督府遞信技師(七等)

◎水稻作況
收穫前年に比し百六十萬石增加

九月一日に於ける水稻作況に關し各道の槪報を徵し之を綜合するに作付反別の增加五萬七千餘町步に達し作柄の良好と相俟つて收穫高は相當多額に上るべき見込なるも精確なる收穫豫想は秋分日(本月二十四日)の調查に係る各道の報告に俟たざれば明かならざるも前記綜合の結果に依れば前年に對する增收率一割三步五厘(內四步五厘は作附の增加に伴ふ增收九步は一反步當收穫量の增加に伴ふ增收)を示し總收穫高は前年に比し約百六十萬石を增加すべき見込なり左に地方別作附段別の增加及び增收步合の見込を揭ぐ

道別	前年に對する作付反別の增加	前年に對する收穫增加率	增加內譯 作付に依るもの	增加內譯 一反步當收穫高によるもの
京畿	四、六〇〇町	二割三〇	〇割三〇	二割〇〇
忠北	三、三〇〇	一、〇〇	〇、六五	〇、三五
忠南	一、四〇〇	〇、七五	〇、一〇	〇、六五
全北	一、五五〇	〇、四〇	〇、一〇	〇、三〇
全南	一、〇〇〇	〇、八五	〇、一〇	〇、七五
慶北	四、〇〇〇	一、一五	〇、三五	〇、八〇
慶南	三、五〇〇	〇、六〇	〇、〇五	〇、五五
黃海	二八、〇〇〇	六、四〇	四、〇〇	二、四〇
平南	一、七五〇	一、四〇	〇、四〇	一、〇〇
平北	六、七五〇	二、三〇	一、四〇	〇、九〇
江原	一、一〇〇	〇、六〇	〇、二〇	〇、四〇
咸南	二、三〇〇	一、五〇	〇、七五	〇、七五
咸北	七〇〇	二、五〇	一、五〇	一、〇〇
合計	五七、〇〇〇	一、三五	〇、四五	〇、九〇

元來稻作に就ては當局は報告例に基き第一回報告を七月十日に爲し植付狀況を調查し第二回は秋分日に於て之が生育の狀況及び收穫の第一次豫想を調查し第三回は十一月一日に於て之が登熟の狀況及び收穫の第二次豫想を調查することゝなり居れるも本年は米作の前途に付注意を要するものあり特に九月一日現在に於ける各道の概況を調查し報告したるものなり左に本年の作付反別及び收穫豫想を各道別に表示す

道別	作付反別	收穫豫想高	反當收穫	前年に對する收穫增加
京畿	一八四六一七、七	一、九二七、四〇九	一、〇四四	三六一、二五八
忠北	五四七六一、六	六六〇、九五三	一、二〇七	六、七八五
忠南	一四四二九四、六	一、六〇八、四九七	一、一一五	一一三、一五四
全北	一二五三八四、二	一、五〇五、九九四	一、二〇一	九三、二五四
全南	一三七七四九、三	一、六九七、〇七一	一、二三二	五九、〇五二
慶北	一二四六五七、四	一、六六二、九三〇	一、三三四	一二九、四八五
慶南	一一八七八三、三	一、七四三、九八〇	一、四六八	一七二、三八八
黃海	一一四六六七、一	九五六、二二四	八三四	九三、八四二
平南	一五二三八八、八	五一三、〇一五	九七九	三七二、二一九
平北	五九一五六、九	六一六、八七七	一、〇四三	六二、二〇八
江原	五一五六七、四	四五七、一四九	八五三	一一五、五五七
咸南	三五二九二、五	三四三、三九六	九七三	二七、一五八
咸北	五三九九、三	三九、四〇〇	七三〇	四五、二三八
合計	一二一〇七二〇、一	一三、七三三、九九五	一、一三四	一、六二〇、三六五

即ち總收穫高千三百七十三萬三千九百九十五石にて前年に比し一割一步三厘四毛の增收に當る

◎戰時金融(一)
鮮銀出張員報告

▲戰費調達の現狀 英國

倫敦にては戰費總高の約四分の一は之を所得稅及び其他の賦課金に仰ぎ居れるが之を差引きたる殘りの四分の三は專ら大藏省證券及び國民軍事債券の賣出しにより調達す而して其賣行狀況は時々消長ありと雖も一日戰費七百萬磅の四分の三たる五百二十五萬磅に對し四月一日以降國民軍事債券賣出高一日平均二百二十八萬磅大藏省證券一日三十三萬磅合計三百六十一萬磅米國借入金一日豫想高一百三十七萬磅を見込み彌縫しつゝあるも少しにても政府が應募慫慂の手を緩くする時は每週應募成績沈衰勝なるを以て又々公債を發行するか或は金利に手加減を加ふるにあらざれば自然英蘭銀行の財源に資源を仰がざるべからざる破目となり、されば三て英蘭銀行は平素財源による借入金增加の傾向を抑壓せんが爲大藏省の反省を促がしつゝあるを以て茲に何等かの善後策即ち新規公債を發行するか若くは內國金利を今一層引下て國民軍事債券の利廻りを有利とし其應募奬勵をなすの二者其一を選ぶ必要あるの情勢に立ち至れり而して當局は國民軍事債券による應募方法を決行して不成功と認めず今後共引續き本法により戰費を調達するの目的を以て(イ)五月二十二日交換組合銀行各代表者と英蘭銀行にて會見し善後策に付協議する處ありしが其結果交換組合銀行は從來銀行業者公定預金利子(現在三分)以上の支拂をなし來りたるものを今後一切公定預金利率以上を支拂はざることゝし同時に各支店支配人をして成る可く得意先の預金を國民軍事債券に投資すべき樣勸誘せしむることを決議し(ロ)英蘭銀行は割引業者に交換組合銀行同樣の援助を求め遂に其承諾を得尙進んで(ハ)英蘭銀行は海外銀行に對しても交換組合銀行同樣の援助の申込をなしたるが元來英國植民地銀行の營業資金の大半は倫敦に於て比較的高利の(一ヶ年期限定期預金利率現在五分見當當座預金年二分)預金を吸收して之に當て居れるを以て今回の協定に加はることは非常の不便を感ぜざる可らざるため協議の際組合員間に異論續出し其の決定を見ざりしが六月六日に至り今後重要なる金融會議を催す場合には必ず海外銀行團をも其の會議に列席せしむべきことの交換條件を附して短期預金に對しては現在公定銀行預金利子步合以上を支拂はざることを諾せり

◎橫斷航就航船
平安丸に變更

朝鮮郵船會社の日本海橫斷航路就航船は開航以來平壤丸を使用し居たるが今回航線の關係上昨秋竣工せし平安丸(一千五百噸)を配する事となり九月十日元山發より就航する事となれりと

◎連帶輸送中止
當鐵京城管理局にて本年一月以來實施中の海陸聯絡たる澤山商會の連帶大貨物取扱ひは九月より特別輸送實施期間中停止する事となりしが月末頃より更に再開の豫定なりと

◎京畿道蠶種檢查
京畿道にては例年の通り道原蠶種製造所に於て蠶種の檢查を行ふべく九月十五日より蠶種の受付を開始する由

◎米穀金融と各銀行の態度
京城各銀行首腦者の會同

六日午後七時より京城銀行集會所に於て定例金曜會を開きたるが席上朝鮮銀行の片山理事は米價調節に對する總督府の方針に順應し更に軍需米▲朝鮮供給の事あるより朝鮮銀行は當分の間米穀金融に就て成るべく消極方針をとり殊に暴利を目的とする疑ひある買付並に短期間に相場の激變を起さしむる如き大口の買米に對しては金融の途を附せざる事となれり然し乍ら出征軍隊の軍需米買ひ締めは國家のため積極的の援助を措しまざるべく方針決定せりとの演述をなし右に對し特に決議等の形式は執らざりしも何れも中央銀行と步調を一にし今後の米穀金融を處理するやう略意見一致八時過ぎ散會したるが列席者は鮮銀の ▲片山理事 松原支店課長 第一銀行の平岡副支配人、十八銀行の足立取締役、漢湖農銀の遠山朝鮮商銀の豐田南支配人、百三十銀行の撥上支店長、漢城銀行の石韓一銀行の具南副支配人、京城銀行の馬場副支配人等にして何れも鮮內各銀行の首腦者と云ふべく上記各銀行首腦者の一致は全鮮銀行の一致と見得べく今後軍需米買附以外米穀金融の消極的となるは避け難からんと稱せらる

◎昨年畜產物產額
畜產物產額は昨年中の調查を見るに其の主なるものは牛皮牛骨牛脂豚毛豚脂蜂蜜鷄蠟膠等にして之れが總產額は數量千二百九十九萬九千八百二十八斤價格四百十二萬五千八百五十九圓にして之を ▲種類別に 列擧すれば牛皮五百十七萬八千八百八十三斤三百二十三萬五千三百八十七圓牛骨五百十九萬二千十二斤十四萬二十百五十八圓牛脂百四十二萬七千四百四十五斤二十五萬八千四十二圓豚毛二十五萬五千五百四斤四萬二千三十一圓豚脂七萬八千九十斤一萬千六十七圓蜂蜜五十五萬九千二十七斤二十六萬二千百四十五圓鷄蠟十萬三千七十二斤五萬二千八百四十八圓膠九萬七千八百二十一萬二萬二千百八十二圓にして之が各道別生產狀況を見るに牛皮及び牛骨は京畿道に最も多く平安南道之に次ぎ咸鏡北道最も少し牛脂は京畿道平安南道黃海道の順序にして咸鏡南道を最少とし咸鏡北道には產出せず

▲豚毛及豚脂 は平安南北道並に黃海道多く忠淸北道には產出なし蜂蜜は江原道平安北道に多く咸鏡北道を最少とす膠は京畿道平安南道咸鏡南道の順序にして忠淸南北道全羅北道慶尙南北道平安北道江原道咸鏡北道には產出なし今百斤に對する全道平均價格を見るに牛皮六十三圓八十錢牛骨二圓七十錢牛脂二十二圓五十錢豚毛十六圓三十錢豚脂二十三圓八十錢蜂蜜四十六圓九十錢蜜蠟五十一圓二十錢膠二十二圓七十錢にして之を前年の百斤當り價額に比較するときは牛骨二割五分牛脂三割九分豚毛一割三分蜂蜜四割蜜蠟二割五分膠十六割六分の高價にして其他は前年と

▲大差なし 之を要するに前年に比し總產額に於て數量二割四分四厘價額一割九分八厘の減を示し居れるが這は屠牛數減少し從つて牛皮牛骨牛脂の產額を減じたるに因るものにして屠牛數の減少は從來朝鮮農民は農閑期に所有牛を放賣し來れるもの大正五年以來農家經濟順調となり必ずしも之を放賣するの必要なきと歐洲戰亂其他の影響より內地牛の價額暴騰し內地移出牛增加したる爲鮮內牛の價額も著るしく昂騰したるに依り屠牛業者に於て屠殺用牛を買入るゝ能はざるに原因するものとす

◎公會堂建設の成算立つ
京城商業會議所が過般來計畫せる府公會堂兼用同所事務所新築事業に對する其後の消息に就き大村書記長は語つて曰く『公會堂兼用の事務所新設に關しては長い間種々の問題と難局に遭遇したが御蔭で漸く ▲其の曙光を 認める事が出來たが必ず公會堂は建設さるべき事に決まつてゐる而して大方の援助を得た寄附金額の如きも目下確實と認め得べきもの約六萬圓を算して居る尙は寄附の勸誘には今日々奔走して居るから今一萬や一萬五千圓の同情者を得る事は敢て至難の事ではあるまい此の外に會議所には事務所建設の積立金が來年の三月迄に二萬圓に達する豫算がある而已ならず會議所は已むを得なければ三萬圓か四萬圓の範圍で起債をして事務所兼公會堂新設費に充當しても差支へなければ此處に ▲十二三萬圓 を投じて公會堂兼用の會議所事務所を立派に建設することが出來る會議所は一個起債の方法によるも之に對する償却能力は充分に有してゐる此商業の發展と人文の進步とに據る商工業の繁盛に伴ふて會議所會員も漸次增加し又會員の營業稅額の向上による會議所課金の增收もあり昨年度に比し本年は約八千圓の課金增加を見てゐる從つて會議所事務費の膨脹も幾分は期待すべき事柄ではあるが年額に於て ▲數千圓の增加 を示す樣なことはない筈である又前述八千圓の課金增加も每年此率を維持して進んで行くことは信ぜられざるも又俄に減少することも豫想されざる事である乃ち爰に三萬圓の起債を爲し年七朱の利を拂つても二千百圓約七朱五厘としても二千二百餘圓之は八千圓の課金增額によつて拂ふべし尙ほ一割の元金償却即ち三千圓は元金償却に充て得べき計算となる即ち三萬圓は償却期間十年とし七朱五厘の起債方法によるも尙ほ課金のみの增額によつて無事償却するを得べき事となる即ち會議所は

▲大方の援助 により寄附金と會議所の積立金と及び起債金額を合し十二三萬を得る事となるから物價昂騰の折柄完全なるものは出來ないにしても相當の公會堂は之を建設する事が出來ると信じてゐる』

□[illegible]島より　三島生
目下當島に滯在中、近日別府に移る積りに御座候、近狀御笑察被下度候。
果外復無暑日頃、洞中唯有水霖。噴、夜情待論秋正到、古得天幾月一痕。

□長春より　廣江澤次郎
西村第一銀行支店長と小生は戰爭成金の景氣に乘じ非日本貨を驅逐し候、近時我日本勢力の北滿進展著しく可き者あるは、邦家の爲め欣喜に勝へず候、小生は北支那を巡り中旬歸鮮の豫定に候(九月五日)

人事消息
▲富士太郎氏(東亞煙草會社重役)七日朝入京湖月へ▲堀田彌三郎氏(同上)同上▲石塚晴吉氏(新義州府尹)七日朝退京▲坂出鳴海氏(土木局技師)本日南二平間の踏査に東二浦へ出張を命ぜらる▲白井代議士 七日朝入京京城驛間題に付滿鐵管理局訪問八日平壤へ

茶前酒後
◆烏蘇里沿線進擊の先鋒、連戰連破竹の勢ひを以て、既にハバロフスクを占領す、眞に疾風枯葉を捲き、迅雷耳を掩ふ隙なき底の行動也。豫期以上の、迅速なる功名也、成功也、敵膽を寒からしむ、語に敵なしとせらる也、武威既に西伯利の大地を壓する也、勝軍の向ふ處、敵は最早[illegible]名を用いて逃走せん。

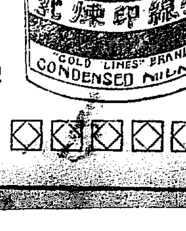
◆日本武士の、戰場に出るの際は、決して女々しき振舞をなさず。古來武士道を守る者の中には、新婦を離別し決心の程を示して、出陣せし者も尠からず。之れ日本軍人の强さ、一原因を示すものなるが、西洋にては、戰地に從軍するに夫人が、後より之を追つかけたる例は尠からず。米國にては戰線に從軍を人の夫人を送らぬ法案を、目下議會に討議中なりき。

◆良人の出征と聞きたる、小ルーズヴェルト夫人の如きは、急遽華盛頓より紐育に赴き、密に自動車にて波止場に到り、佛國行きの汽船に便乘して、戰線に先廻せり。而して夫君負傷の際の如き、夫人自から手厚き看護をなしたり。

◆屍を馬革に包むは、日本武士の名譽也。戰場にて妻君の膝に依りかかりて死するが、西洋武士の習ひならば、吾人の目より見れば、洵に恐縮千萬に堪へざる也。泉三郎の芝居や、尼ケ崎の芝居を見て、西洋人が不審顏するも、敢て奇怪とするは野暮也。

◆故小泉ハーンは、文章者にして、且つ有名なる詩人たりし也。彼は日本の淨瑠璃を愛讀せしが、彼の衷心より賞讃せしは三十三間堂棟木の由來の一段なりし也。彼に於ても、尙は泉三郎や十次郎やは其眞意が了解せられざりし也。

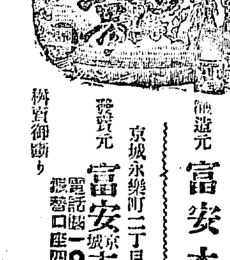
ミルク界の大王 金線印 コンデンスミルク



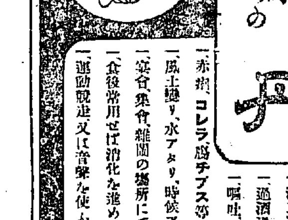
製造元 極東煉乳株式會社
資本金 壹百五拾萬圓
工場 北海道札幌 北海道輪西 靜岡縣三島
自營牧農場 北海道輪川 面積二百萬坪
內外一手販賣 三井物產株式會社
朝鮮特約店 京城 中嶋商店 仁川 三友商會

電燈を暗くする器具 金五拾錢也 京城朝鮮銀行橫 ヒオキ商會 長電二二一番

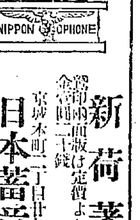
優等清酒



釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四三九番 振替口座四三九番
御賣御斷り



自衛の為 清心丹 懷中要藥
一赤痢、コレラ、腸チブス等ノ豫防
一風土病リ、水アタリ、時候アタリ
一宴會、集會、雜閙の場所にて起る容体
一食後常用せば消化を進め胃腸を健にす
一運動競走又は音樂を使ふ時
一心神鬱結したる時
一汽車汽船等の不快
一過酒過食、食アタリ
一嘔吐、下痢、腹痛
振替口座東京四六八 東京日本橋元大坂町 高木與兵衞



新荷著 鷲印曲盤は定價より三拾錢引 壹枚金壹圓二十錢
京城本町二丁目廿九番地 日本蓄音器商會 電話二八三番 振替京城六八四番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店
電話 五八番 一九四番 振替貯金京城 一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面竝朝鮮樞要の地に有

大正七年七月一日改正現行 [illegible]

◈我軍の占領したハバロフスク！

◎張子の虎を踏み潰すやうな
ハバロフスクの占領
日本軍と聞くと竦み上る敵を掃蕩する位容易な事

大激戰を豫想されたハバロフスク市は我先遣騎兵部隊の一部とカルムイコフ校隊に依つて五日午前難なく占領された。戰報は朝刊既報の如くなるが之に就て龍山軍司令部某參謀曰く

ハバロフスクには約二萬以上の俘虜軍及び赤衞軍があつて飽までも死守すると云ふ情報があつたし、過日のクラエフスキーの逆襲戰などに依つて見ると敵は却々頑強にやつて來たので、軍事當局者と雖も、ハバロフスクだけは鎧袖一觸と云ふ具合には行くまい、冬籠り前までに占領出來ればよい、と言ふものが多かつた。然るに事實は豫想に反して

★張子の虎 よりも容易く蹴潰す事が出來たのには驚かされた、詳しい情報は解らないが、僕の想像する處では、敵軍は始め日本軍が上陸して居る事を知らなかつたので、日本軍が上陸する迄にチェックや英佛米軍を一氣に叩き潰して終ふ計畫であつたらしいが、案外にも日本軍が第一線に現はれて遮二無二攻め立てる、唯一の武器たる裝甲列車は途捕される、追擊は益々激しいので到底日本軍に對しては砲火を交へる事は出來ないと

★屁古垂れ てすつた敵軍は、過激派は銃を投棄てて百姓になり、俘虜軍はさつさとハバロフスクに引揚げて、此處に立籠らうとしたが、折角開いた極東委員會では日本軍襲來と聞いて、慄へ上がり、最後まで闘ふとも、白旗を揭げて、日本軍を迎へるとも決せないまゝ解散し、次いで中部チエツク軍はチタを占領した、ブラゴエチエンスクでは千五百餘の哥薩克が立つて反過激派を煽てるなどと言ふ報が達したので

★流石の敵 も意氣沮喪して遂に潰裂四出、收拾すべからざる狀態となつた結果、殆ど無抵抗で占領する事が出來たのだらうと思はれる、今頃は獨墺俘虜軍の大部分は銃を棄て濫に殺さぬ顏をして神妙に俘虜收容所にでも入つて居る事であらうが、一部は金鑛の豐産地と稱されてゐるゼーア河の奧地方面に逃げ込んで再擧を計るかも知れない、兎に角日本軍と聞いたら

★一竦みに 竦み上つて了うのは痛快だ、此分でゆくと西伯利の獨墺俘虜は極めて容易だ

◎政府買附米 神戸で賣出す

既報政府買附米は九日神戸にて最初の賣出を開始す可しと（神戸電報）

◎東京國府津間で廣軌車の試運轉する

鐵道院大井工場で製作した車軸車輪は從來の狹軌式で車體のみ廣軌式の二三等の客車各一輛は今度完成したが一兩日中に之が試運轉を東京國府津間で行ふ事となつた右に付中管振部技師は語る『從來客車の幅八尺五寸を九尺二寸四分とし東京國府津間修繕車輛運轉の時之を連結して行ふ事となつた現在狹軌の儘では多少危險が多いので先づ板で貨物大の隧道を作り之を通過して見て後にやる事にした結果に於て成功したら他日廣軌式になつた場合、直ちに使用出來る樣作成し一定の時間を運轉して見たい考へである』

◎戰地へ暖爐を 目下晝夜兼行で製造中

參謀本部前の廣い原中に煉瓦造りの車がある、其中で先月六日以來殆ど晝夜間斷なく西伯利の冬の陣に使ふべき暖爐の製造を急いで居る此暖爐は先月突如○○個程製造する事に決して其筋から各御用商人に命を下したが何分期間の短い上其數が○○個と謂ふので遂に彼等は屁古垂てお辭儀をして仕舞つたから當局は一寸當惑した然し

▽青島戰 の際に納入した商人があつたのを思ひ出して急に小張銀次郎と云ふ者をして請負はしめた、一ト月餘りの短期に○○個を製造すると云ふので工場も職人も見付からない、頗る弱つたが一旦引受けた以上は乘引ならずと經理部の倉庫を借受け東京市內の

▽暖爐職 は勿論金庫の職人迄狩立て、漸く二百名の職工を集め、朝の六時から夜の十時迄を就業時間として鑄物、鐵板の材料は自動車で運搬し倉庫內では酸素の取扱ひに熟練した職工約四十名をして四臺の機械を使はせ酸素の詰換は總て自動車で酸素會社と連絡を採り酸素附が全く終れば直に鑄物の金網を入れる一方屋外には

▽七八張 の大天幕を設け鐵板を切斷して丁字形の煙筒を造り前記の暖爐と共に頑丈な木箱に收め三百個づゝ纏めては汐留驛に送り△△港から戰地へ運搬する手配である、一個の重量約廿貫（東京）

◎二孃召出さる 大原伯の養女と萬里小路男令妹

今回華族界から二人の若い美しい令孃が女官見習として宮中奉仕の光榮に浴した其一人は大原邊子孃（二十）で跡見女學校卒業の才媛他の一人は萬里小路男の令妹袖子孃（二十）であつて英和女學校を卒業後實踐女學校に學んだ才媛である

◎東清罷業熄まず
根本的解決を爲す可く我當局は嚴重に抗議した

既報東淸鐵道の罷業は尙熄まず今後三四日間は解決六ケ敷かる可しと云ふ爲に輸送は全然中止の姿にて長春寬城子の滯貨山を爲せり今回の罷業は賃金問題の外に時局柄○國の煽動せる形跡明かなりと傳ふるものあり此後再び此擧を繰返さるゝ事あらば種々なる貨物の運送に至大の關係を及ぼすを以て此際根本的解決の要あり我當局は嚴重なる抗議を東淸鐵道に致し居るも曖昧にして捗らず電信電話も全部不通にて其根柢頗る深く此の如きは今日迄嘗て見ざる事なり（長春特電）

▽解決近し 旅館は大混雜

哈爾賓特電＝東淸鐵道同盟罷業は其後益々擴大し電話電信總て罷業し總罷業頗る强硬なるが某國領事より遺憾甚大なる旨通牒したるに依り多分七日午後解決せん尙ほ汽車不通の爲め旅館は大混雜を極め居れり（東京特電）

◎燎火衣冠に映えて
秋晴れの釋奠
◇……凝安の樂、烈文の舞、殿かにも亦雅びを極めた古例の儀式 山縣政務總監も參列した

恒例による秋季釋奠は八日午前九時より東小門內經學院に於て執行せられたり文廟の內外殿かに燃ゆる燎火、爀灼として祭官の

◈典麗古雅 なる碧朱とりどりの衣冠に映じて美しく、先哲の靈位に供へし海の物、山の物のかずかずを盛たる前に諸員著床すれば副提學李容稙子同朴齊斌男等の先導にて山縣

◈政務總監 遠藤秘書官を隨へて着席、式は樂人舞人の演奏する凝安の樂、烈文の舞に始まり祭官以下鞠躬如として趺座叩頭恭々しく四拜の禮を終れば

◈李副提學 初獻官として孔子の神位前に跪坐して祭文を讀む初獻爵を首めとして亞獻、終獻なる釋奠の儀式あり李副提學以下列席の山縣政務總監關屋學務局長その他の參拜拈香あり續いて

◈京城中學 同高等女學校、善隣商業學校、高等普通學校その他內鮮學校生徒約二千の參拜ありて十時式を終りたり

◈秋季釋奠の光景 （右）副提學李容稙子 （左上）定位に著いた祭官 （左下）武舞

◎紐育市俄古間 郵便飛行 取敢ず試驗

紐育市俄古間の郵便飛行は十二日より十四日に亘り試驗飛行を行ふ筈なり（紐育電報）

◎老軀を擧げて南米へ 小笠原翁出發

九十歲の老軀を擧げて南米に新日本村を建設す可き小笠原吉次翁は一族六十四名移民千三百名、堀口伯西國現公使、宮崎博士等と共に六日午後長崎港解纜の讃岐丸にて出發せり（長崎電報）

緩衝機（投書歡迎）

飮酒家へ 不屈生

●今回の米價は世界創立以來未だ曾て聞かざるの暴騰を來たした爲に內地では各地到る處に暴徒蜂起り警官は申すに及ばず國防に備ぶる軍隊の出動迄も見たるは世界の一等國として誇らんとする者多き我が帝國の爲に遺憾に堪へざる次第ではないか

●要するに之れは施措の當を得ざるも國民の生活方法が非科學的で徒らに勞費の甚だしきものゝ困る事であらう彼の英佛伊米獨等の交戰諸國は言ふに及ばず中立國の瑞西和蘭等でさへも非常の經濟を以つて家計費の節約をなして居るに比すれば、同じく交戰國たる我國民の生活振りは餘りに放縱浪費に失するではあるまいか

●現に常食品たる米が國內で産するだけでは足らぬにも拘はらず尙ほ年々四百萬餘石の米を酒造の爲に費して居る禁酒は今や世界的傾向であつて自己の酒量の大なるを誇りとし或は他人の斗酒尙辭せざるを見て之れを豪傑として尊敬するが如きは抑も時代遲れの野蠻の遺習である

●國民が今日から早速酒を止めなくとも之れを節約すれば今年の酒は來年まで殘るから來年は少し減造すれば可いのだ假りに百萬石の米を酒造に用ひても後三百萬石は之れを食用に供し得る事が出來るのである

●斯かる莫大の米が酒造の爲に費さると言ふ事は實に不經濟である酒は身體の健康を害しても利する所は少い者であるとは多くの學者が唱へて居るが實にそうである。敢へて飮酒家に節約せられん事を望む

猿を見て 竹添透人

●私は頃日動物園の猿を見て感じた猿は獸類の內で最も人間に近いとか成程頭腦の敏活にして手足の自由や身體の動作は殆んど人間の動作かと疑ふ樣に類似して居る點が尠くない只悲しい事には其動作に就いて善惡取捨の分別がない一事だそこが人間と違ふ猿類の特徵であらう。

●然し人と雖ども一定の常識を缺ぎ自己と謂ふものを忘却して居るものに於ては慨然たらざるを得ない

●人は人に賴らず獨立の精神を以て事に當るがよい一歩の妄想に耽つて輕擧妄動少しも自己を顧みるなく人を煽動挑發して各自の決心を得ば我等の得たるものとなし得意然として居る者に至つては洵に寒心の次第である

●人として人に賴れんと欲せば先づ十二分の思慮と誠意とを以て萬事に當れ……空若に對し自己の將來を恐れ唯ガヤ〳〵と巧言以て煽動者の顏色を窺ふのみが毎日の能事でもあるまい。

●心あるものは宜しく冷靜にして熟慮すべきなり……妄動者に迷ふ先生よ思はないか……甚だしい……呵々

◎夫は出征 妻子は病氣 氣の毒な一家

鎭南浦四十九番地松本方同居出征軍人豫備陸軍輜重輸卒楠木鶴吉（三五）は昨年五月妻子と共に渡鮮し來り同地三菱製鐵所臨船部職夫として雇はれ細き煙を立て居る中本年一月生れの次男が先づ營養不良にて漸く床につき次いで妻が姙娠して身體を損ひ次男と枕を並べて床につきしより更でだに逼迫せる家計は益々逼迫し來り唯だ男泣きに泣き居れる矢先突如動員令を受けたれば後を省みる暇もなく淚を揮つて應召したり氣の毒なるは家族にて歸國するにも金はなし病人の親子は醫藥も充分ならねば日々に衰弱して行く樣傍の見る眼も傷々しき程なりと（鎭南浦）

◎安東では斯うして歡迎

○日夜より○○團安東通過に就き官民有志約三十名六日午後七時より公會堂に集まり歡迎に關する打合せをなしたるが全部を六區に分ち交代にて送迎する事、驛にイルミネーション及び萬國旗を揭揚する事各自國旗又は提灯を持參する事出征軍人に氣藥等を送る事其他は十數名の委員に一任する事等を申合せ午後九時半頃散會せり（安東特電）

◎愈々九日から市中小賣屋で米の廉賣
救濟會から全然委託する

京城救濟會にては來る九日より其の廉賣方法を改正し愈々市中各白米小賣商店に於て白米、外米、粟、麥、小豆等を發賣することに決定せり右は救濟會より割引券を發行し各町洞總代の手を經て各細民に配付するものにして結局割引券の額面全額丈け救濟會が細民の生活費を補給する形となり各白米小賣商店は精米所より米の配給を受くる運びとなるべき模樣なるが今九月三日救濟會評議員會に於て決議せし廉賣方法改正の要點を摘記すれば左の如し

一現行廉賣方法を變更して各米穀小賣商をして廉賣せしむること
一廉賣券は鮮米、粟、麥、小豆を通じて一枚とし一升七錢の割引とすること
一外國米は別に一升廉賣券を發行し賣渡し値段を記載すること
一廉賣券は各町洞總代の手を經て救濟を受くる者に配附す
一各町洞總代に交附する廉賣券は救濟會より府內警察官派出所に送致し同所より各總代に配附すること
一廉賣券の交附を受けたる者は京城府內各米穀小賣商店に就き隨意廉賣券を提供し購入することを得
一各小賣商店の廉賣は九月九日より開始すること

◎神戸の成金稅 筆頭は勝田

神戸に於ける戰時利得稅查定額表されたり最高稅額の查定を受けしは勝田銀次郎氏にして查定額六十一萬八千六百五十二圓にして船舶所得者成瀨正行氏は十萬三千二百七十七圓の查定を受けたり（神戸特電）

◎飛下りて公判廷を逃ぐ 大膽な被告

六日午後一時大阪地方裁判所刑事第一部櫻田裁判長係りにて窃盜前科十犯の兇漢近藤熊吉に對し懲役十六年に處すとの判決を言渡すや同人突如身を躍らして窓より飛降り逃げ出たるも直ちに捕縛されたり（大阪特電）

◎群集の中に爆彈
四國靈場の椿事 多數の負傷者を出す

五日四國靈場第十一番なる德島縣名西郡下分上山村燒山寺の宵祭あり午後五時頃より近在の參詣者千餘名に達し混雜せる際何者か爆藥を群集中に擲ちたるより轟然たる音響と共に多數の負傷者を出だせり目下嫌疑者を引致して取調中（德島電報）

◎若狹の奇病

若狹地方には一種の奇病流行し發熱後四日位にてコロリと死去するより同地方にては此病を杉山風と稱し虎列拉病よりも怖れ居れるが右はワイルス氏病ならんとて目下研究中なり（大阪特電）

◈新講談

本紙講談こゝ數日間京橋末萇の爲め休戰中の處愈々新講談『毛谷村六助』三十六番角力』到著せるを以て本日より揭載を始めたれば引續き愛讀を乞ふ

◎迷信から暴動

咸南北靑郡新浦面六台西里李昇用は官廳の許可を得、八月十九日同里保安林より松樹を伐採し居る內里長鄭觀善（五二）外重立ちたる里民は昇用に對し『件の山林には數年前より鬼神宿り居れば今此の松の木を伐る時は鬼神に祟られ村の者は醜い目に逢ふべし』とて其の伐採方を差止めんとしたるも同人が應ぜざりしより忽ち二百餘名の里民を糾合して昇用及び其の使役人夫等に暴行を加へ且つ昇用等の山小屋を破壞して七十六圓餘の損害を與へたるが急報に依り新浦憲兵分遣所より憲兵出張し鄭觀善以下十五名を逮捕して嚴重取調中

日曜集會

▢東本願寺（南山町）八日午後八時より『信仰の絶對性』菲上開教師『求めよ自由』淚衆谷開教使。日曜學校は午前九時より開始の由
▢京城日本基督教會（長谷川町）午前八時半日曜學校同十時禮拜說教『世界最大の賜』秋月牧師午後八時傳道說教『重荷を神に』同氏
▢妙心寺別院（長沙洞）午前九時より後藤瑞巖師大悲咒講話提唱あり來聽歡迎
▢メソヂスト教會（旭町二丁目）午前十時より『無盡の愛』中村牧師午後八時『我等離に往かん』同氏

◎接待役は小國民 釜山鎭の軍隊送迎

釜山鎭在鄕軍人會にては會員一同守田區會長宅に會同して出征軍人の送迎を盛んにする事に付き協議したるが各要所々々にお茶接待所を設置し接待係りとして第二の國民少年少女をして之に當らしめ一方新聞其他名所繪葉書等の配付をなすべく各戶若干宛の寄附をなし最早準備成れりと（釜山）

◎乘馬練習會

京城乘馬俱樂部に於ては八日午前八時より黃金町乘馬練習所に於て乘馬練習會を開き長谷川總督、宇都宮軍司令官、高島十九師團長、兒島警務總長、市川軍參謀長、內野第四十旅團長其他在京將校の臨場を請ひ會員一同出席盛大なる練習會を催す筈なるが當日は新加入及び參觀は隨意なりと

演藝

▲札幌觀劇會 サッポロビール京城出張所では同社出入の新町社員を招待して七日から京城座に開演した浪花節、新派一座の初日の途中見物をした、少し遲れて行つた記者は一番目を見ず、二番の連鎖悲劇『女優』から觀た、實演では一座の看板女優鶴田で綺麗なところを見せるのが目的だらうなどといふものもあり、殊に廣告祭りの大連市中の撮影、間拔けな追掛けなどが愈々打壞してゐた、役々では彌五郎の太夫元花子の女優彩子、よく喋べる女優になつたのなどがいゝ、舊劇派の井子別れは例の九ツの中野芳子七ツになる吉千代の少年少女が相變らず可愛い所を出して、喝采を受ける、切の喜劇『入營』は落語の身代り地藏から材を取つたやうなもので唯賑かな追ひ出しに過ぎず要するにわけも無く笑ひに行くにいゝ座である（商陳公）▲大正館 六日より差替への寫眞は伊太利加奈陀の冬期、滑稽入ハイカラ商賭者と喜劇三人猿實寫連續活劇第五秘密の王國、新派悲劇吾校人▲浪花館 浪花節雲右衛門一行にて八日より一行中の雅城か京城に因んだ文句を其のまゝに入れる由▲壽座 連鎖劇花土玉家一行にて開演中

廣告

商業登記公告

商號『文明雜貨商店』ハ其ノ使用スル商號ヲ廢止シタリ
右大正七年九月四日登記

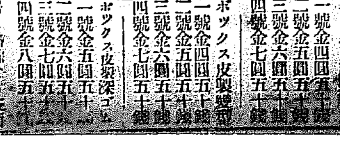
商號新設。商號 [illegible] 營業ノ種類 洋雜貨販賣 營業所 京城府鍾路二丁目七十番地 商號使用者ノ氏名住所 同所 朴文學
右大正七年九月四日登記

商號新設。商號『鮮報社』 營業ノ種類『商報』ト題スル印刷物ノ刊行 營業所 京城府本町二丁目 [illegible] 商號使用者ノ氏名住所 [illegible]

[illegible]
右大正七年九月五日登記

[illegible]
右大正七年九月六日登記
京城地方法院

寶の山
今日人生上無くてならぬ日用百貨の商品を問屋仲介業の手を經ずに直接製造卸賣する本社は [illegible] 東京神田 [illegible]

安心の出來る靴

ボックス皮編上 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス皮製靴型 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス皮頭深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術を以て入念に調製し一般御用に好適なり御注文の節は靴の種類代金及足型御送付被下候樣願上候
東京府荏原郡 日野製靴店

鯨尾羽毛 刺身代用品 大販賣 東洋捕鯨株式會社特約店
京城明治町 鯨問屋 香月
振替口座四八四六

今秋の各展覽會には女流作家の活……に餘念なし

これ女史と一昨年の文展に植物園のパラソルを描き……事既に二度に及んで居る有馬女史は何でも……お婆あさんの精力絕に倚り……しんでゐる題材は五十號のカンバス……ように用意怠りないといふ評判で……ある鶴高文子さんは去年の不名譽……

○日に日に緊張し來れる奥地の戰爭氣分と

商人の活舞臺＝陸軍用達會社

哈爾賓商客の談に依れば我南滿軍の北滿移動となるや哈爾賓商人連は一攫千金の利を占むるは此機を逸しては他にあるべからずとなし何れも

◆◆血眼の大活動 となり或は表面より堂々として御用商を望むもの或は裏面より辣腕を振つて暗中飛躍を開始するもの已に大小の御用命を得て欣喜雀躍の氣早な連の活舞臺となつて實に戰爭よりも大騷ぎの有樣なるが其内に

◆◆三井と鈴木 の大頭株は軍隊北滿移動の聲を聞くと共に其莫大なる資力を提げて馬糧燃料建築材料其他軍に需要あるべき大宗品の買占めに着手し東奔西走手の達せざる所なき有樣なれば忽ち市價の騰貴を來し就中鈴木の

◆◆薪材買占め は凄しい勢であつた結果時價の二倍乃至三倍の騰貴を見直に寒空を前に控へて居る事とて市民は大狼狽を來し只管鈴木の辣手段を怨嗟しつゝある、何にせよ哈市一般商人連の

◆◆鼻息こ來ては 實に凄まじい勢いである中にも富田の如きは以前よりの關係上セミヨノフ軍の御用達として今度の戰爭に於る御用商人の魁を爲し東洋館の三角老人の如きも日露戰役通譯の昔に返りお手のものなる自動車に怪氣焰を乘せて大活動をして居る同氏と東堀の富田氏とは三富組なる名稱の下に陸軍御用達組合を組織し協力更に活動しようとの意氣込である、最近最も有力と目されつゝあるは

陸軍川達株式會社

である資本金二十萬圓の一株五十圓四分の一拂込み總て發起人引受け專務長澤、常務辻、取締役富田、武部、杉浦、監査役板垣、池永、支配人大塚、相談役河井氏等哈市の紳士を網羅した顏觸れ仕事の如何に依つては百萬とも二百萬とも増資すべしてふ素晴らしき意氣込である他方面に

◆◆飛入り商人 が如何に濟闘するも一歩も荒させぬ覺悟なるも既に南滿方面よりも手蔓に依り大矢組、石光洋行等有力なる御用達が進出し其他大隊附とか聯隊附とか云ふ小御用商人を承り承はつて居るもの或は承はらんと集まつて居るもの哈市に群集し殆んご緊張の極に達して居る、併し已に御用命を

◆◆蒙つた筋は 砂糖或は馬糧等を奉天方面に買占めに出張して居る、漸次南滿も戰爭氣分の緊張を見るであらうと（奉天）

○鮮滿商業會議所聯合會

◆廿五日より大連にて◆

滿鮮商業會議所聯合會は愈々來る廿五日より大連商業會議所に於て開催せらるゝ筈にて大連商業會議所及び滿洲各商業會議所實業會等は此の會合をして始めて有意議のものたらしむべく研究調査を遂げ相當重要なる問題を提出する事となりたり特に營口より提出の運賃改正問題及び大連より提出の特産物輸送に關する取扱ひ改良滿鮮兩地間の航路擴張等重要なる實際問題比較的多く都督府及び滿鐵にても此の會合に對しては相當の注意を拂ひ當日は宮尾民政長官國澤滿鐵理事長以下臨席し會議中は大連各方面の實業家有志者等の傍聽亦盛んなる豫定にて將來此の會合及び決議をして滿蒙開發上權威あるものたらしむべく其の議案の如きも重要にして實行可能なる問題を提出する事となりたるが朝鮮各會議所は割合に提出議案少く平壤の數箇條を除きては京城會議所よりの安東縣及び營口稅關長を日本人となすの議案一群山より滿鮮航路統一に關す議案一を提出し釜山、大邱等は三日迄未着なりとの事なるが近來滿鮮兩地の經濟接觸及び滿蒙地方の企業勃興と朝鮮經濟界の關係等に鑑み兩地の經濟連絡を圖るため今回の如き會合を利用し朝鮮商工業界の爲め建言要求等隔意なく披瀝せられたきものなりと（大連）

○東支炊爨車

東清鐵道に於ては或種行動の使用に充つべく護衛炊爨車四十三輛を新造し既に必要に應じて各列車に連結使用しつゝあるが今後更に幾多必要の機會起るべきを以て更に七十輛を新造する事に決し既に其工作に着手し既製の分を合し百十三輛の多數に達する筈なるが同炊爨車は今後大活用を見るに至るべしと觀測されつゝあり（奉天）

○鮮銀と安東縣

朝鮮銀行安東支店は業務の擴張と同時に現在市場通りの營業所に於ては狹隘を感じ不便尠からざるを以て一時或は元正金銀行跡へ移轉すべしとの噂ありしも同所は今般安東錢鈔公所の成立するに當り同所が買ひ受け營業所となさん希望あり目下交渉中の由なれば鮮銀支店が同所へ移轉する事は沙汰止みとなるべく從つて第二の問題として現在の營業所を拚築するか或は改築するかに至るべきも現今に於ては未だ確定したる成案なしと木村支店長は語れり（安東縣）

○哈爾賓電話

過日來軍隊側に於て應急架設中なりし長春哈爾賓間電話は已に全通し專ら使用しつゝありと云ふ但し距離稍や遠きに過ぎ通話上支障あるべきを慮り一日窯門に於て中繼ぎする筈なりと（奉天）

○仁川在穀高

八月三十一日仁川穀類在庫數量は玄米四斗入四千五百十六叺　斗入八千六百十一叺白米四千七百四十三叺袋入三百二千九俵大豆三千八百四十四叺小豆九百三叺小麥二千八百八十八叺豌豆五百六十叺大麥五百四十五叺粟一萬三千百七十七俵粉米二千四百四十一叺粟四百二十五叺袋入四百七十一個胡麻三十叺黍九十三叺袋入百三十五個蕎麥三百十三叺粳米九十五叺外國米四千四百九十五袋あり（仁川）

○獵季來る

本塲の黃海道や 大同江上流地方を狙ひ 斯界の猛者は腕を撫して 待焦れてゐる

狩獵の季節が近づいた、狩獵期は來る十五日からで昨今多くの獵家は待ると障ると過ぎにし獵の自慢話何れも大天狗振を發揮して今や遲しと待構へてゐる尤も本年の狩獵免狀下附出願者は各地とも未だ全部の屆出で濟まないから何名と云ふことは不明であるが日鮮人を通じて昨年よりは餘程多數らしい、之等の獵者連は十五日の狩獵開始と同時に近くは大同江上流或は下流又は平原順川郡等へ出掛けるものさては黃海道興平山郡を初め安州郡九龍江沿岸方面へ遠征を試むべく現在より準備はおさ〳〵怠りなく何れも腕に撚を掛け氣の早い連中は第一日に一魁の功名を爲さんものと

早十日頃より遠征

の途に就くものもあるらしい、兎に角獵物の一番多いのは黃海道瑞興、平山附近であるとは大天狗の話であつた、其處で本年の狩獵家に對する利便を圖る爲め遂に狩獵界の一般を概記して置かうと思ふ而して先づ平壤に於ての銃砲火藥店では本年は獨逸品は固より英國製の品其他舶來品は絕對に輸入がないとのことであるが倘ほ英國製品が內地にあるにしても朝鮮向でない三百圓以上千圓位の品のみで到底西鮮地方では歡迎されない高價品ばかりであるさうな。而して米國製品のグリーナ式が依然甲々入荷はあるから本年の狩獵家は舶來品を使用するなれば此グリーナ式を用ふるより他に途はないのである尤も近來我國でも獵銃製造に一大進展を現はしグリーナ式の眞物を凌駕すべき品が製造される、處が時局の影響を蒙つて民間銃器製造職工は兵器廠に召集されし結果其製造能率を著るしく減少した爲と原料其他の暴騰に依て昨年に比しては二三割の昂騰である價格を示すとグリーナ式二連元折銃百圓以上百五十圓位、單發元折四十圓より七十圓位、村田式長銃三十圓より五十圓迄、レミントン式單發細物十五圓より二十五圓位であつて黑色火藥は百匁一圓、發彈百匁三十錢、獵用雷管百個二十五錢であるといふ（平壤）

○遊興の財源は盜んだ自轉車

◆手當り次第に乘逃げ◆

長崎縣壹岐郡鯨伏村三二小川喜一郎（二二）は元京城に居たるものなるが先月八日平壤に入込み府內東町備中屋旅館に泊り込み自分は平壤郵便局に通勤するもの山田清と云ふものなりと詐稱し同家に下宿し居たる上每日午前八時より辨當を持つて通ふ眞似をなし別段行く所もなきため每日府內を徘徊し居たるが去月十九日陸路里百三十銀行前の合宿所前の道路に自轉車ありしを見て隙を窺ひて乘逃げをなし陸軍官舍瓶子大尉宅前に來るや同所にありたる加來雜貨店方の店員乘用の自轉車ありしを見て先の自轉車より質上等なりしかば直ちに乘換へ其儘逃走し古物商朝鮮人某方へ二十四圓にて賣飛ばし其足にて同遊廓長崎樓に登樓し娼妓笑藥を上げて遊興の上翌日更に賣消したるより又々惡心を起し翌町五九瀧口榮藏が平壤郵便局に乘來りたる自轉車を表門入口に乘り捨置きたるを其儘乘り逃げ鎭南浦に赴き同地三和町二號旅館に泊り今度は昇田春作と詐稱して宿泊し自轉車を辰井町中田古物商中田方へ二十八圓にて賣卸し宿料を支拂たる殘金を持ちて再び平壤に舞ひ戾り又々賑町遊廓に至りて消費し更に平壤大和町林青物商店々員が平壤郵便局表門に置きたる自轉車を竊取し其儘安州に赴き同旅館にて今度は田中辰藏と僞名して投宿し該自轉車を古物商朴某に二十四圓にて賣却し又々平壤へ舞ひ戾り相變らず遊興を爲し居りしが是より先き平壤市中に於いて自轉車の盜難被害頻々たるより平壤署の各刑事は犯人搜査中遂に賑松刑事の手に取押へらる（平壤）

○新炭の激騰

昨年の倍額となる

最要期を目前に控へたる新炭界は近時東京方面の買煽りに延いて森林取締の嚴重となりし結果は山元に於ける製造能率を削減せし等あらゆる方面の影響を蒙り市價は既に去月中旬頃より奔騰し尙日出廻り漸を稱へ市況活氣を呈し日々騰貴を極め米價に次ぎ其の騰貴漸く大ならんとし目下平壤商業會議所に於ては細密調査を爲し之が調節に就て考究中なり今平壤市內に於ける是等の市價を調査し昨年同期に對比すれば左の如し

平壤新炭價格表

	本年八月	昨年八月
薪　小割	六五	四五
木　炭	二、一〇〇	一、二五
豐筑切込炭	二三、〇〇〇	一四、〇〇〇
撫順切込炭	一九、七〇〇	一四、五〇〇
安州切込炭	一五、〇〇〇	八、四〇〇
煉炭ピツク	一二、九〇〇	一二、〇〇〇
同　粉田入	一一、七五〇	一〇、〇〇〇

以上は新木炭は十貫立石炭は一噸の價格を示せるものなり尙粉炭は百表より一圓下り塊炭は一圓上りなり斯の如く現時は昨年に比し非常の暴騰を示し來れるが尙ほ前途憂慮すべきは向後需要期に入ると共に益々高値を現はすは輸送不便なるため本年冬期に於ける新炭の相場は大いに憂慮すべきものあらんといふ（平壤）

○私學校の慘事

◆校舍を倒して生徒三名共に慘死す◆

平北各地に豪雨あり出水の被害甚しきが中に宣川郡新府面山城洞二の五壽堂（私立學校）朴戰寬方にては裏手に當る高さ四十尺の斷崖約廿三尺崩壞せしため朴戰寬の長女寶姓女（一三）を初め長男賢介（二）生徒康政錫、長男信河（一〇）同文俊進長男風鳴（一三）同君國珍次男年臘（一〇）の五名は家屋の下敷となり無慘の即死を遂げ校主朴戰寬は意外に跳飛ばされ負傷したるも生命には別條なかりしと而して同普校は平素十四名の生徒を收容し居れるも當日は豪雨の爲め僅々三名の被害ありしのみなりしといふ

○福岡視察團

福岡縣學事視察團一行三十五名は來る二十九日頃滿洲各地の學事視察を終へて平壤に來るべき豫定なりと（平壤）

♣靈瀑＝銀水♣

平南孟山郡銀泉里の東南方約五丁を距る山間に一つの瀧がある此の瀧は高さ六丈五尺あるが大中小の三つに落ちてゐる、水量は大して多くはないが瀧の幅が三尺餘で落ちた水は小川となつて流れて出る別段瀧の名と云つてはないが土地が銀水里だから銀水の瀧とでもいふべきであらう斯んな何でもない小さな瀧に或る一種の傳說的迷信から毎年夏期になると其の瀧に打たれに行くものが隨分澤山あつて一日に五六十人から百人位の人が寄まるさうだ而もそれは只附近の里民のみでなく遠くは陽德郡から成川郡邊からもドシ〳〵出掛けて行くと云ふことである是れに付いて其譯を聞くと此の瀧は昔李朝時代に旱魃の年があると其の瀧で祭祀を行つて雨乞をした處で其の以前の傳說は明かでないが何でも、あらたかな靈瀑であつて何んな重い頭痛や眼病や發疹腫症其他の關節疾患等でも夏期此の水を浴びたり呑んだりすると全治すると云ふ事から集まつて來ると云ふ事であるが果して病氣が治るか治らぬか疑問に堪へない事ではあるが兎に角其療法から淋しい山の奧も夏期丈は賑ふ次第である（平壤）

平南本年の收繭

平安南道に於いては本年初めて當局の奬勵により一代交配種の奬勵を爲さしめたる處其成績概して良好なりしが春蠶掃立四萬三千二百七十五枚中一萬一千七百三十九枚に達し其收繭石數　萬三千八百三十一石の內四千百五十石に達せり之を從來奬勵飼育せしめたる內地種に比すれば收繭額多く同種三種一枚當りの收繭額二斗二升四合なるに新奬勵品は三斗五升四合に達し其差一斗三升の增收あり今是を金額より見れば一斗八圓とするに三種一枚に付き十圓四十錢を利する譯なれば一般當業者の新奬勵品種を希望する者益々加はりつゝある狀態にして平南の蠶業は向後三年間位るにして全部新奬勵品種に移さするに至るべしと

京日紙上お伽講演

時局物語　小さき愛國者（四）

龍山　淚光

鎭守の森に梢を洩れる朧の月が、眞砂子の顏を蒼白ふ、そして淋しく、照してゐるその可愛い頰はに玉の露、淚の玉が光つて居りました。拜殿にぬかづいた少年はやがて尻切れ草履を引ずつて四邊を見廻しながらトボ〳〵と下りて參りました。木蔭の眞砂子は飛び出して來て可憐な少年を擁しながら

『まあ、武ちやん……。』

『アッ、お姉ちやん！』

吃驚した少年は、薄暗い月の光りに少女の顏と聲を見すかして親鳩の胸毛に溫かく抱しめられた小鳩のやうに、武雄は姉の胸に顏をうづめて泣き出しました。

『晝は晝、夜は夜さて赤ちやんの世話までさせるのを辛く思つてるのに、まあ、武ちやんは……お母さんの、お父さんのお生命まで……武ちやん、姉さんを恕るして頂戴ね。』

親鳩が子鳩を抱しめたやうに、強く、やはらかに弟を抱きしめて泣きくづれました。

『姉ちやん、僕、僕ね、男だからごんな事でも辛いとは思はないけど、姉さんは女なのに……か、かんにんして頂戴ね。』

姉は弟を、弟は姉を、たがひに勞はり勞はり合つて居りましたが、やがて眞砂子は顏を上げて、

『あゝ、遲くなるとまたお母さんが心配なさるから、さ最う歸りませうね、私も一寸お祈りして。』

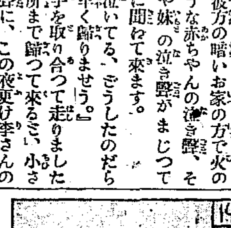
と拜殿に進みよつて、兩手合はせて純な乙女の眞心をしばし祈願にこりました、港の町の灯の色も、霧にしつとりとざされて眠つたやうな街道へ丘の宮から下りて來ますと、彼方の暗いお家の方で火のつくやうな赤ちやんの泣き聲、それに弟や妹の泣き聲がまじつてはるかに聞ねて來ます。

『あッ泣いてる、ごうしたのだらう、サ早く歸りませう。』

二人は手を取り合つて走りました家の近所まで歸つて來ると、小さい泣き聲に、この夜更け李さんの聲が、火の付くやうに泣叫ぶ赤ちやんをあやしながら『小母ちやーん、小母ちやんよー、今私、眞砂子さんを呼びに行つて來るから、ねッ、小母ちやんよう！』こうした事かと、二人は急いで庭の戶引明けますと、四人の小さい弟と妹は姉と兄との手をとらへて

『お母ちやんが……お母ちやんが……。』

『まあ、お母ちやんがごうなすつて、ね？ね？』



急いでお床に近寄れば、これはまあ、お母さんの御樣子つたら、人の話に聞いてゐたい人の死ぬる時の苦悶……？

姉弟二人は右と左から、耳に口をよせて淚聲、

『お母さん──。』

『お母ちやん──ん。』

呼吸も苦しい母さまは、やつと小さい目を見開いて右と左の姉弟を眺め、かすかな、しかし力のある聲で、

『お、。』

蒼白い血の氣の失たやせこけた頰へ淚が止め度もなく湧いて流れて參ります。

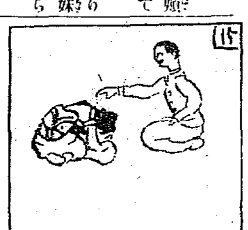
『お母さん、お母さん、しつかりして頂戴よ、ねえ〳〵、弟や妹やい、あ、赤ちやんが可愛想だから、ねえ、ねえお母さん。』

『眞砂子、武雄、……。』

息が苦しくつて次が云へない、武雄は指に水をつけてはお母さんのお口をしめして居ます。こもすると落すまいとする淚がお母さんの顏に落ちかゝつて……

『眞砂子、武雄……お母さんはね、ね、二人に何とお禮を云ひませう、これから後、小さい弟妹と、生れたばかりの赤ちやんを……ほんとに二人に濟まないねえ。』

二人の手は骨のやうな母の手に握りしめられてありました。その夜お母さんは產後の肥立が惡くつて、心のすべてを後に引かれ引かれながら、終にこの世を去りました、六人の兄弟は……小さい弟や妹は悲しい眞實も知らずながら、冷たい母の死骸に取すがつて聲をかぎりに泣きました、赤ちやんは李さんが連れて歸つて、李さんのお母さんのお乳を飲ましてもらつてニコ〳〵と笑つて居りました、夜が明けて安藤先生が見られて、六人の姉弟の顏をながめて聲を立てゝ泣いて下さいました、やがて先生は眞砂子や武雄を勵まして、今日の學校を休んでまで形ばかりのお葬式もさして下さいました。その日も暮て、先生も歸つて行かれたその後で姉弟は今更のやうに新しい淚が湧いて來て夢のやうな心から覺めないで心細い行末を思つて泣きました、しか



し幸ひにも赤ちやんは李さんのお母さんがお父さんが歸つて來るまで世話してやるとの深切に眞砂子は人の情に感謝の淚を流しました戰爭はだん〳〵進んで行きましたが眞砂子等の父は無事でお國のためにごんな危い場合でも敵彈一つ受けないで働いて居ます、きつと神樣の加護でせう、何時までも弱い淚に泣いてはゐられません、眞砂子と武雄は今までに倍して勇氣を猶ひ起して精米所と新聞配達に勵みました、そして四人の弟妹をよく世話してやつて居ります。雨が降つても風が吹いても、ごんな朝でも二人の姉弟の姿が見ない事はありませんでした、そして二人の姉弟の祈りが鎭守の宮に絕た事はありませんでした、小さい二人の心には只お父さんのため、と云ふ眞實の心が何より強く響いてゐてお父さんのために働くのは心を盡して亡くなつたお母さんのため天皇陛下の御爲になるのだと信じて居りましたから……。（終）

わきがの蟲を一撲に懲せ

■此好季節には速かに治癒す■

近年に無い今迄の暑さにわきがの蟲もさん〴〵に暴威を振ふたが今は稍終●わきが●のある人は此機に當り一撲に之が全滅を計れば治癒は速かである されば本舖大宮が實驗上苦心研究した本舖の療法は從來の一時的療法と異り自宅に於て安全に治療が出來而も可及的確効ある事は山と積む無數の感謝狀でも證さるる今迄種々の療法を行ひ失敗せし人も直ちにワキガと記し東京本鄕區眞砂町本舖大宮醫院へ申込めば無料で回答される

りん病

淋病消渇で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で送る　名古屋南かじや町　武藤龜吉

職業

地方に居りて美術的に優雅高尚なる職業を求むる方に不問年中無休老幼男女共就業容易普通有ふれた職業に非ず熟練日收多大御申込は郵券拾錢を要す（特約店募集）　東京市本所郵便本局前　形梅商店

店員入用　十五六歳より二十歳迄

京城本町二丁目　丸一吳服店

第二學期　補缺會員募集　毎週月火木　九月九日より

旭町二丁目メソヂスト教會構内（電話二五六五番）　實用英語夜學會

タンセキに不思議な効ある　呼吸器散　呼吸器丸

本劑の特長　本劑は最新の貴藥を配伍せる肺結核の特効藥にして如何に重き患者にても服用せばタンを去り、セキを鎭め胸苦しさを和らげ夜分安眠の効を奏す。マヅ一週分を試みよ!!

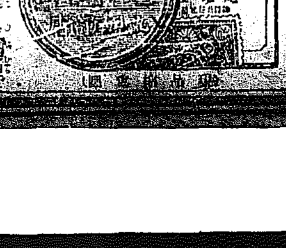
かゝる時に偉効あり　■息苦しく胸痛む時。■咳出て夜眠られぬ時。■たんに血混りたる時。■聲潤れ出ざる時。■のんご腫れ痛む時。■たんせき切れ難き時。

本舖　大阪　丹平商會藥房　全國藥店にあり

○ミツワ頑癬膏

頑癬疥癬に陰囊癬及白癬に卓効ある　みつわ・たむしのくすり　硝子器入　金貳拾錢（內地以外は送料實費を加ふ）

適應症候　頑癬、陰囊癬、疥癬、濕疹、其他黴菌等の寄生に因つて起る皮膚病　頑癬の中最も多いのは陰囊癬で、初め陰莖に紅い圓い斑が出來、其の周圍に小さい水疱をつくり、漸々大きく廣がつて、皮膚や陰囊にも蔓延し皮膚で被はれた輪廓が出來て、甚だ痒いもの。白癬とて頭部に出來るしらくも又顏面に屢々出來るはたけ、其の他ぜにがさなどの類。しつ或はひぜんと稱へ、疥癬と謂ふ蟲が寄生して起る皮膚病で指の間、腕、腋窩、股部、陰部、臀部等の附近などに出來て、痒ゆる痒いもの。濕疹は前に述べた頑癬や疥癬などから出來る種類のもの。是等の皮膚病に罹つた場合には、溫良で刺戟のないミツワ石鹼で洗ひ淨めて、處方公開のミツワ頑癬膏を塗に限る。

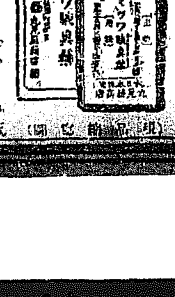


（現品縮寫圖）

○ミツワ腋臭藥

腋臭を自癒ぜしむべき制臭制汗藥　みつわ・わきがのくすり　硝子器入　金參拾錢（同上）

適應症狀　腋臭、手汗、足汗、其他汗の多き病症　腋臭は青年に最も多く、腋の窩から出る汗が不快な臭氣を放つので、他人に忌嫌はれ、男子は國民の義務を盡すことが出來ず、婦人は離婚の不幸に遇ふやうなことがある、而して此の腋臭は精神感動、飲酒、熱等の場合汗の盛んに出るとき、殊に甚だしい。足汗は足袋や靴下などの爲にむれて、分解して惡臭を放ち、それが爲め時には水疱が出來て、痛み或は痒く、足は常に濕氣を帶びて冷たく、凍瘡を起し易い。手汗は神經衰弱や冷血の少年に多い。是等の腋臭、足汗、手汗にはミツワ腋臭藥を塗るに限る。而して發汗の爲め水疱が出來たり、爛れたりした際には、ミツワ撒布藥を用ふるのが好い。

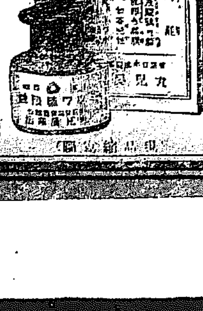


（現品縮寫圖）

○ミツワ點眼液

眼結膜諸症に消炎鎭痛等の効ある　みつわ・めぐすり　點眼器附瓶入　金拾五錢（同上）

適應症候　眼瞼腫脹、結膜充血、眼脂分泌亢進、羞明、流淚、眼瞼痒、眼疲勞、爛眼、眼灼熱、異物感、急性結膜炎、トラホーム　眼瞼が腫れ、結膜も腫れて紅くなり、淚液が多く出て、羞明しく、眼が或は痒く或は熱く或は痛み、眼の內に何か入つて居るやうにゴロ〳〵するなどの症候を現はす諸種の結膜炎、結膜充血、トラホーム等の眼病には酒や辛い物を禁じ、眼の疲れぬやうに心懸け、ミツワ硼酸錠を溶かし、それで蒸すなり冷すなりして、又洗ふなりして、ミツワ點眼液を用ふるに限る。本劑は分泌を止め消毒の作用のあるものを主藥とし、それに炎症を消し疼痛を鎭める有効藥を數種加へたもの故、右の眼病の家庭治療に缺くことの出來ぬ良藥である。



（現品縮寫圖）

發賣品目錄御申越次第進呈　ミツワ石鹼本舖　東京橘町　丸見屋商店

商況

東京期米特電

六日後場　一節　二十六圓三十一錢　止め　三十七錢
七日前場　一節　二十六圓四十一錢　止め　三十錢

兵庫期米特電

六日後場　一節　二十六圓七十錢　止め　五十八錢
七日前場　一節　二十六圓五十五錢

大阪三品特電

七日前場　九月限　四一三、七〇　十月限　十一月限　十二月限　一月限　二月限　四一二、四〇

大阪期米特電

六日後場　一節　二十七圓四十錢　止め　三十一錢
七日前場　一節　二十七圓三十一錢　三節　三十錢

下關期米特電

六日前場　當限　中限　先限

雜報

●綿布更に氣高

大阪綿布市場は三銘柄十四圓五十錢を高値として保安及三品市場の大反落を受け急轉直下五六の兩日に七十五錢方の瓦落を報ずるに至りしが當市中は前報の如く頭顱大阪相場の騰上りに調子付たる機先輸送の途絶にて今後入荷の程も明かならざるに今日迄地方筋へ相當出拂ひ現下在荷の少なき爲此處内地相場の暴落も殆ど對岸の火災視されて恐惑筋の熱狂買旺盛を極め昨朝の如く粗布三ー二〇の三百九十の大阪三銘十四圓

●獨立の商勢

内地は全然出來しや大阪引き一段強

●丁度賣腰し一段強

●幾分高ナグレ

●三品引戻す

●五圓安米棉更に

●圓内外の大急落

●三圓乃至六七圓方を跳返し各期二十

●正米强含持合

●錢方引締まり二三十

●仁川正米市場

●牛皮商内皆無

●時局構へに見越し買氣の分

●倉入品の纒

●引續き無商内の裡に推移

●内地鑛油界

●揮發油

●鮮白は漸騰

●賣物薄

●器械油

●鰹油

●約一圓五十錢方昂騰

●小麥出廻り薄

●河筋物に弗々買進

●糯は品薄高

●貫約一圓方の騰

●燐寸大暴騰

●問屋手元に一個の持合

●約十圓方の大暴騰

●穀粉一齊引締

●白米强含み

●水飴値上げ

下關相場

各地商況

大邱米況　六日

釜山穀物市場　六日

南大門廻穀

仁川正米

生魚市場

釜山水產市場

仁川期米

▲七日前場（依然保合）

二錢安に寄付

糧穀米豆大小麥京内進豆
仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目
電話長一六番

市場雜觀

依然保合の裡

仁川米豆取引所

七日の十一月限

青物小賣値

東京四十一錢高

令と同樣の效果に自然制限

朝鮮は收用令なく

又價格の限定なし

値は夫れ以上の高

結果不自然

六 第一席　卅六番角力

谷村六助　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

天正十五年五月豐太閤秀吉公が九州の島津家征討の砌、豐前香春郡小倉城へお立寄りになり、時の領主の立花三河守從侍が推參によりまして、當領分毛谷村の農夫六藏の伜六助と申す者、高麗明神よりの神自ら稱し頗る劍法の妙手に有り、且力量衆人に勝れ天晴武道の達人にて、此者を召抱へんと思ひ當人を呼出し右の由を申告げたれに、六助の申すには御暇へ御願下されば、己の武勇に勝れた者でなりとて、秀吉公の御前に於て、それが爲殿下秀吉公の御前に於て、者一人づゝ選び、三十四人を二人の飛入りを加へて三十六人をました。此六助は後に加藤主計頭清正に仕へまして、不知と稱しましたが、生立は前申上げましたる通り豐前國香春郡小倉在毛谷村の農夫でございます。

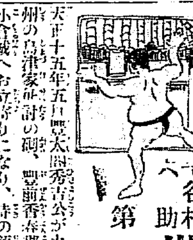
任をおかつぎ申しまして、何人力あるか判らない、大力、

に暴も嫌ひません、此者を六藏の伜六助は生れついての大力、十歳未滿でありながら百貫以上の荷を背負ひ荷物の運搬などをいたします。内に父六藏は病氣にて母子二人で働いて居りまして、同國彦山の參詣人の強力をする、八人前十人前の用を辨ずるによつて毛谷村の奇童と云つて之も評判でございます。茲に其頃藝州沼田郡廣島に在城いたしまする中國十州の主毛利右馬頭輝元の指南番八重垣流の名人吉岡一味齋といふ劍士がありまして年々兩三度位づゝ彥山に參詣をいたしますが、其の都度此の六助が强力を勉めまする、少年ながら重荷を負うて險惡なる山を登るごと平地を行くが如く、一味齋先生も是は不思議の大力者と思つて來る度毎に六助を伴れて參詣をいたします。六助も又通り一遍の旅人と違つて心を盡して能く働きます。又此彥山は坊中一般山法師等の武藝を嗜むことは京都の叡山

て感心をして居りました。參詣を濟ませ其夜は坊に泊つて四五日此處に逗留して六助を初め法師等へも稽古をいたし遣はしました。中に六助は素より好きな武藝なれば天晴一廉の武藝者にもならんと思ふ先生に就て學びたことなし心得、幕毛と忘れて稽古をする

仕込みしならばと思ふ處より彼に吉岡は他の者は兎も角此の少年を持つ身の上なれば幾日も此處には特別に念を入れて致へる、然し主持つ身の上なれば幾日も此處に泊つて居る譯にはなりません、廣へ歸國をいたしまする、六助も懷しさの餘り本國まで附添つて參りました。

にも勝る位でございます、六助は登つてさへ來れば法師を相手に劍術の稽古をするのを何よりの樂しみとして居ります、折から恰度吉岡の供をして觀月坊へ參りますと、廣庭に於て法師等が劍術の稽古をして居ります、六助は縁側に荷物を置くや否や飛んで來て、六ヤア、ヘボ法師が揃つて居るな、○イヤ毛谷村の親爺が來たが、さア用事が濟んだら來い、稽古をして遣る、六『オー宜いわ、坊主の痛面を見ようかな、さア來イ』法師等は樫刀を取つて立對ひます、最も其頃は木劍竹刀などはございません、素面素小手眞剣の木刀で試合つたものであります、頻りに打合つて居るのを吉岡が職務なれば草臥足の脈ひもなく六助の樣子を窺く見



◎安東縣近事

▲高島將軍　第十九師團長高島中將は黑田參謀、岡田、川崎兩參副官と共に經理部長を伴ひ新義州に來り同日午後七時四十五分發列車にて歸任の途に就けり
▲射擊大會　在鮮軍人會安東分會に於ては八日午前八時半より六道溝守備隊射擊場に於て秋季射擊大會を催し午後四時より公會堂に於て分會の總會を開催する由
▲馬賊逮捕　六道溝にて捕縛せられたる馬賊劉振起、王殿陽、張永山、劉中は三日午前安東縣署に送られ同地にて逮捕せられたる馬賊劉福、張子俊、王鳳元、薛國瑞の四名は同日午後何れも八道溝に於て銃殺の刑を執行されたり
▲庭球團來　安東庭球團は來る八日の日曜を卜し奉天軍を迎へ壯快なる仕合を爲す計畫にて目下猛練習中なりと
▲病院閉鎖　安東縣守備隊衞戍病院は時局に關し衞生部員異動の爲め當分衞戍病院を閉鎖すと

運勢

九月九日　九星　舊八月五日　巳　未

本命二黑坤宮流□

▲藝妓芸居　南地藝妓連の素人芝居は此程より尤も誤熟心に練習中の處是ならばと見込み附きたるを以て來る十五六日頃開演盛んに幕下長の冥毛を讀むべし
▲二黑
▲四綠
▲五黃
▲六白
▲七赤
▲八白
▲九紫

演藝案内

壽座

本町三丁目　電話五七八番
浪花節連鎖劇

大正館

櫻井町　電話八七三

▲三人源吾（全三卷）
▲秘密の王國
▲寺技大人（全三卷）

有樂館

▲人情活劇　復讐の人（全五卷）
◎人情劇　心の鎖（全五卷）

壽館

本町一丁目　電話一〇五〇

黃金館

電話（晝間）二二六六（夜間）二二六七

▲新派悲劇　潮の如く（全四卷）
▲中ノ傷
▲百萬弗の秘密
▲道中膝栗毛

富の道しるべ

山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢

浪花館

明治町二丁目　電話二六〇番

親切にお相談　のためにお知らせします
東京　大阪北區　森田屋

月やく

眞　大口入　田村質店
電話二九一六番

品質第一
誠實第一
行賣第一
キッコーリウ
最上醬油
釀造元　仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

江戸の花名納め
創業明治廿貳年
新たに開業の御方又自轉車御營業の方へ（ご運送登録）
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候

自轉車卸商
杉野商店
東京神田末廣町
振替東京四八七七
電話下谷五八一番
郵便私書函神田局拾四番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

健康長壽劑
腸胃病最新藥
ゾルガリン
佛國細菌學泰斗メチニコフ博士唱導
村上醫學博士　島田藥學博士　實驗證明
腸内ヲ防腐消毒シ蛋白質ノ消化ヲ助ク
ルガ故ニ腸カタール、消化不良、醱酵
下痢、便秘等ニ卓効アリ
コレラ、赤痢、チフス等ノ病原菌及有
害菌ヲ撲滅セシメ腸胃ヲ健全ナラシム
ベシ有害菌ノ生産毒ヲ制止シ健康ト長
壽ヲ保ツベシ
小兒ノ消化器障害ニ最モ適應ス
發賣店
粉末三十瓦入　壹圓　五拾五錢
錠劑百個入　壹圓　五十箇入　五拾五錢
大阪市東區道修町三丁目　田邊五兵衛
東京日本橋區本町四丁目　田邊元三郎
（見本品無代進呈ス）各地有名藥店ニ取次販賣セリ

京城本町一丁目江戸川横
岡本齒科醫院

るじうつくよ　ズラナニセッ
健通丸
十日の便秘も一服で治る其快さ！
各藥店にあり　十錢以上
泰天堂　合資會社

第五版

[illegible]見たる所あるも同地方の作柄は[illegible]旬は一般に高温乾燥なりし[illegible]最は鴨綠江口に於ける龍岩浦の二週[illegible]平均[illegible]

[illegible]は此報道の影響なるか大阪市場に[illegible]の鋭敏なるものは或は[illegible]

京城日報

告朔の餼羊たらしむる勿れ

經學院振起の方策如何

孔子、文廟の秋季釋奠を觀る。儀容古雅にして、文物煥然たるものなきにあらずと雖も、忌憚なく吾人の感想をいはしめば、形骸徒らに存すと雖も、精神既に蟬蛻し、殆ど惚物附神の木乃伊に對するの思ひなき能はず。之を以て德教風化を裨補せんとするは、蟬殼を手にして、枯木の鳴聲を聞かんとするに庶幾からずや。

儒學は今日に於て衰頽の極に達せりと雖も、二千年來東亞に於ける德敎を維持し、國家社會に大造あるは、何人と雖も之を認諾せざる能はず。特に朝鮮に於いては、極端に佛敎を排斥し、一意儒學を尊崇し全域の蒼生を驅りて、悉く其の典型の中に投じ去りたるを以て、其の人心に浸染するもの頗る深く、たとひ形式の末に走れるもの多しとはいへ、倫常未だ地に落ちず、辛うじて今日まで維持し來れる所以のもの、一に孔夫子の遺澤に歸せざるを得ざるなり。されば朝鮮に於ける善良の習慣と稱すべきものは、大抵其の根柢を儒學に發し、環境の培養を經たるものにして、儒學即ち思想習慣たるを以て今日以後更に之を長養し、國家社會の風教を保維し、其の暢達を謀らんとせば、少くとも根幹に向つて一掬の培肥を施すの勞を吝むべからざるなり。

吾人は夙に朝鮮及山東に於いて儒學專門の大學を設置するの必要を認めたり。是決して一時の政略的手段にあらず、寔に東洋文明の根源を明かにする所以にして大は以て世界の文化に寄與するに足るべく、小は以て東洋特有の思想を洗練大成すべし。而も方今國家多事、吾人の希望を達するの日の甚だ遠きを悲しまざるべからずと雖も、現在既に設置せられたる朝鮮經學院の如き、此の意味に於いて更に一層の刷新を加ふべきものあるを急を思ふなり。經學院を一種骨董的の陳列所として之を存置する、固より多少の意味あるべし。然れども之をして更に有効の動作を執らしむるの難きは、何人も異論なき所ならん。唯之を爲すに於て、如何なる組織と、如何なる方法とに由らば、能く枯骨に肉して、其生氣を恢復するを得るやと顧みるのみ。吾人必ずしも經學院の現制を拒否するものにあらず。然れども其の規程に明示せる『經學の講究を爲し風敎德化を裨補する』の目的を達せんとせば、徒らに老朽の學究を陳列し、春秋釋奠の享祀を爲すを以て足れりとせず、有志の青年書生をして、息游修藏するを得るの設備を整へざる可らず。又其學習指導に關しても、從來因襲せる學究的方法にては、以て現代の要求に應ずるに足らず。少くとも新知識を有する學師をして之が提耳たらしめざるを得ず。此の如きは現在の經學院を殆ど根本より改造するものにして、當初設置の趣意以外に出づるならんも、而も是れ決して無用の閑事業にあらず、又決して不可能の事にもあらず、僅々數千圓の經費を投じ去れば、今の骨董陳列場を一新し、新なる藝苑を現出し得るにあらずや。而して之に附屬する文廟享祀の如きも、此の一段の振起に由りて、初めて虛儀の域を脫し、森嚴に滿度に、精神的威儀を發揮し、眞個に神在すが如きの典型を示し得て以て德敎風化の源と爲すに足るべし。未だ知らず學務當局亦つて這個の事業を樹立するの勇ありや如何。

◆生活の壓迫と其救濟策◆

中流階級の保護(上)

東京平民病院長　加藤時次郎氏談

目下生活に最も困難を感じつゝある者は精神的勞働をなしつゝある中流階級である、是が救濟は實に焦眉の問題である事を余輩は深くより絕叫し來つた、然るに世間は一向に我等の心事を解して呉れないのみか當然味方たるべき資本家も何等かの野心でもあるかの樣に思つて取り合はないのは吾等の深く遺憾として居た所である、折から物價の昂騰につれて彼等中流階級の生活は漸く不安に襲はれ、さなきだに神經過敏なる彼等は今や其物欲しげなる時には憂ひの影を宿し乍ら日々の生活に心を惱ましつゝある、見給へ!電信、鐵道、郵便、電話等の通信事業に於てさへ從業員は生活の安定を得ざるが爲其の昔纔たる頬には痛々しい不安の色が刻まれてゐるのではないか、斯る有樣であるから其業務上熟練せる適當の人材を得る事の困難であるといふ事は寧ろ當然の事ではあるまいか、予輩は斯くの如き悲しむべき事實の到來すべきことを夙に悟り社會政策實行團設立の趣旨を聲明して世に警告を與へ來つたのであるが不幸にして其後見は今日事實となつて我等の眼前に展開し來つたのである。抑も一般社會活動の原動力は何處にあるか?試みに大正五年度の東京市年表に據ると所得税納入者は一割四分で貧民階級は一割八分である殘る七割弱は皆中流階級の人人ではないか、此の大部分を占むる中流階級は知識も精練され能力に於ても遙に上流階級に優つて眞に國民の中堅たるべきものである、實際智的能率に於ても產業的能率に於ても社會活動の心棒となり原動力たるものは此中流階級の人々である、官署、會社、銀行等に就ても多數の下級社員がなかつたならば如何にして維持して行けるか、彼等は實に縁の下の力持である、此力持たる中流階級が疲弊し脆弱であつて如何にして國民の生氣潑溂たる活動が見られようか、資本は假令ば營養品の如きものである、是を消化する機關が健全であつてこそ血となり肉となるのである、然るに是を消化する機關が不完全であつたならば營養品は營養品たらず却つて不消化病を惹き起す源となるのである、先般來各地に頻々として起つた沓猥九州地方では起りつゝある米暴動の如きも是れが單に下層勞働者の自覺しない烏合の衆なれば今更驚く程の事もないが、もし其暴動の背後に醒めたる中流階級が居るならば寔に堪へぬ次第である、余輩は公安の爲に此際特に中流階級の人々が愼重なる態度を採られん事を切望せざるを得ない、もと社會は少數資產家のみの生活舞臺ではない、而も文化生活は多數人類の幸福よりも少數資本家の利益を圖る傾きがある爲めに生活の困難を感ずるものが漸く多くなつて來た。(東京支局)

大阪より

△軍票流通圓滑　某所入報に依れば日本の軍用手票は既に北滿地方に發行せられ當初豫期せし如く支那人間に於ける信用厚く日本金券と何等選ぶ所なく至極好成績を擧げつゝあり殊に今回の流通區域たる哈爾賓附近の如きは日露日支貿易直接に行はれ日本金券の價値を熟知し居るを以て軍票の流通は何等支障なきは當然なり特に軍票の氣受け好きは日露戰爭後に於ける軍票の相場高次に昂騰し相當の利益ありし爲め新軍票の發行を希望し居る程なれば新軍票は圓滑に授受を行はれ毫も停滯の觀なければ日本有事の今日甚だ喜ぶべき現象なりと

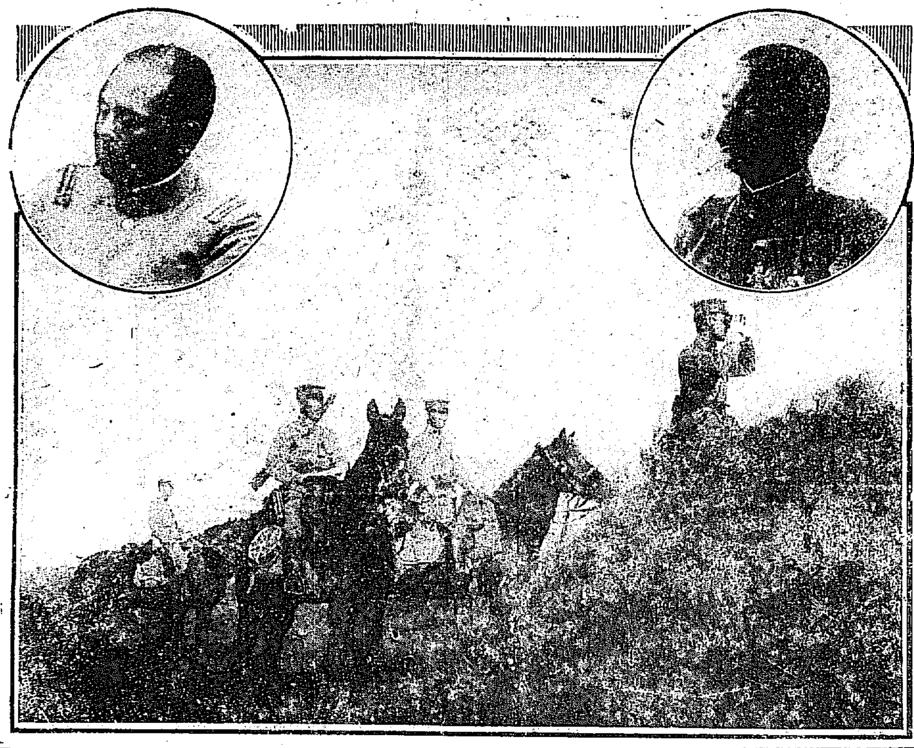
△印棉運賃問題　來る十一月より更改する印棉運賃改定問題は海運界の現狀に徵し汽船側は頗る強硬の意嚮を懷くもの如く現行率に二三割方の引上を要求するに至るべきは略疑ひなき模樣なり時近郵船商船協議の上大略決定したる神戶古倫母間の運賃四十五圓を六十圓に同じく孟買間の運賃五十圓を六十五圓に約三割の引上に徵するも印棉運賃の現行率を持續する能はざる事は紡績側も之を認めざるを得ざるも元來印棉は歸航積載貨物なるを以て往航貨物と同一に爲すべからざるは勿論印棉相場は空前の大暴騰を演じ徐々片爲替の不利なる程度を高めつゝある場合更に運賃の昂騰を重ぬるは本邦爲替關係の影響は勿論米棉よりも高き印棉を買入れざるを得ざる苦境に在る紡績側の影響を認むる結果を來たすべく紡績と汽船の利害相反するを以て其緩和協定は頗る困難なるべく幾度も交渉を重ぬるに非ざれば一致點を見出し難き狀況なりと

△鷄卵高見込　鷄卵は依然產地品薄を告げ天津上海物は割高にて內地輸入不引合の爲め大體に於て昂騰の趨勢にありと雖も冷藏品案外豐富なるを以て常に伸力を壓へられつゝあり商行は近時生魚不漁に付之れが代用として一般の需要少からず從つて目先安見込なりと重なる唱へ値左の如し

九州三貫九百目一二、〇〇〇　三州三貫九百目一二、五〇〇▲備中三貫九百目一一、〇〇〇　淡路三貫九百目一〇、五〇〇▲土佐千個五、〇〇〇

△乾物類漸騰　乾物類は概して強持合を持續しつゝあるが就中乾燥野菜、凍豆腐等は殆ど押目を作らず上進を續け凍豆腐は千早物中形千切十二圓擱みを唱へ漸く品薄を告げ來り緣、若芽は十貫目三十五六圓所を示し紫蕨は當浦品十貫目四十二三圓所に商談整ひ居れり尤も本品は今年出來高惡かりし爲新物出じ値段に於て現に三十圓內外の高値を現はしたれど四十二三圓は空前の珍高値に吹き出したるなりと

△綿絲輸出增加　紡績聯合會調査八月下旬の綿絲輸出高は九千九百十二梱半にして上中旬の五千梱に比し著增を示し昨年同期に比するも約千百梱を增加せり更に本年一月以降八月迄の輸出高は二十五萬三千六十六梱半にして昨年同期に比し四萬五千七百五十七梱の大減少を示したり(大阪支局)



ハバロフスクを占領したる第十二師團騎兵第十二聯隊の雄姿と聯隊長宮內中佐(向つて右)中隊長川名大尉(向つて左)

本紙定價　壹ヶ月金[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　[illegible]

並行線

瀧閑村

(七十四)

『運命だ!』

何の方面から考へても、結局は斯う思ひ諦めるより外は無かつた。

實太郎は何も知らずに安らかに眠つてゐる妻を見返り乍ら幾度か寢返りを打つた。

有らゆる機會は悉く自分を棄てゝ、往つて了つた。嫂に對しては深い恨みを禁め難いが、今になつてそれを責て見た處で、去つた機會が還る筈は無い、我籠を出た美しい小禽はモゥ一生我が手には戻らないのだ。

其手紙にどんな事が記されてあつたかは尋ぬる由も無いが、恐らくは節子が血を吐く思ひで書いたものに違ひ無い、それが人もあらうに嫂の手で葬られやうとは恐らく誰しも思ひ到らぬだらう、斯うして節子は人の妻になつた、自分は人の夫となり、將た人の親とならうとしてゐる、そして自ら開拓した事業を棄てゝ、他人の爲に嫁衣を縫つて、自分は碌々として辛うじて活きてゐるのだ!

『節子に濟まなかつた。』

さう思ふと、自らと涙は瞼を傳うた、纏綿の情が汪然として湧き返つた。

と云つて此思ひを傳へる事も出來ない、事情を述べて詫る事も出來ない、人の夫から、人の妻にはモウそんな自由は許されない。

『何が爲に私は生きて行くか。』

節子が自分に反き、潤醸化學紙を高田に嫁はれたと思つたればこそ、反抗し、發奮して、有らゆるものゝ犧牲にして、事業に成功してやらうと思つたのぢや無いか、それが唯一の慰藉でもあり、希望でもあつたのだ、併し其情が判明して見れば寧ろ非は我にある事を知つた今日に、それが何の慰藉、何の復讐だ。

憚る所無き心の底には、お村が嫂で無く、自分に係累だに無ければ、彼を殺して自分も死にたいと思ふ位、怨恨と忿恚に燃てゐるけれども殆ど先天的に心に吹き込まれてゐる道德はそんな事を許さない。そこに人間の悲哀がある、そこに切の苦痛がある。

運命だと思ひ諦めるより外は無いが、それには餘りに慘酷ではあるまいか。

『寧ろ一切の現狀を打破して、新しい生面を開いて行かうか。』

大連の黑田からの手紙が思ひ出された。

總ての係累を切り棄て、腕一本で新しい境地を拓いて行つたら、此の苦痛から脫れるかも知れぬ、父も無い今日、せゝこましい、微溫的な、そして不快な記憶の多い此の都會を去るのには、何等の未練も無い筈ぢやないか。

『滿洲へ!滿洲へ!』と心の底で叫んだ。

妻は依然として何も知らずにスヤ〳〵と眠つてゐる、一切を自分に託して、斯う安眠してゐる妻を思ふと——殊に身籠もつた妻を思ふと、自分獨りの苦痛より脫すればそれでいゝとする事も出來ない。

『運命だ!』

復考へはそこへ落て行つた。

新秋　茂泉鴻堂

梧窓商氣掃炎庚。河漢如流涼始生。蟲語叢中聞喞々。誰家早已動砧聲。

避暑山寺　內田六圃

學暇日、風雨方可誦、毘盧松聲似雨聲。空王殿上汲泉。不知三伏熱何處。也信人間寒情。

避暑山寺　中西古竹

學暇日、流暢可喜、高雲鎖裡。涼氣滿禪天。老衲寒泉古。佛龕丹壁鮮。鳥空添寂寂。松籟拂塵緣。六月忘炎熱。學暇日、幽寂情境、躁心入道不得、茶鐺煮覺泉。

觀夜漁　高井椿堂

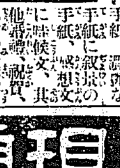
丹楓蘆葦笠簑輕。叢看深宵投網行。四倒盛川風露裏。漁篝照得江明。學暇日、清麗、宛然如畫

應用自在

手紙文庫

▼こんな手紙でも頭を痛めずに即座に書ける

▼空前の大著 今回完成せる新體美文手紙文庫は有名なる美文家芳田山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語、類句、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙、嬉しい手紙、濃艷な手紙、敍景の手紙、感想文、其他時候、見舞、祝賀、招待、通知、照會、依賴、謝禮、催促、訪問、兵事、學事、代理、贈答文に至る迄[illegible]



特價 [illegible]

▲東京市青山南町六丁目百卅五　手紙文庫刊行會　振替東京三四〇八六

此際先着注文者五百名に机上便覽用『書翰文用語集』一冊無代添付進呈

伯爵 土方久元閣下題

外務大臣 男爵 後藤新平閣下序

貴族院議員 德富猪一郎　帝國大學教授 芳賀矢一

法學博士 上杉愼吉　理學博士 岸上鎌吉　醫學博士 二木謙三
法學博士 井上辰九郎　理學博士 三好學　文學博士 井上哲次郎
男爵 阪谷芳郎　工學博士 寺野精一　法學博士 井上友一
法學博士 添田壽一　工學博士 山川義太郎　工學博士 大河內正敏
文學博士 田中義成　工學博士 伊東忠太　子爵 理學博士 平山信
文學博士 吉田東伍　工學博士 鴨居武　東京高等工業學校長 根岸政一
文學博士 萩野由之　農學博士 外山龜太郎　理學博士 高橋堅
理學博士 五島清太郎　醫學博士 三宅秀　理學士 國枝元治
理學博士 谷津直秀　醫學博士 大澤謙二　安田銀行顧問 安田善次郎

廿七大家

現代碩學 百科説林

△金融の話　△通貨の話　△[illegible]の話　△電車の話　△建築の話　△遺傳の話　△[illegible]の話　△道德の話　△天文の話

[illegible]

△國體と憲政の話　△[illegible]

△個人及家內經濟の話　△人間と獸との[illegible]　△[illegible]

特價二圓五十錢(定價三圓)

◇大賣捌所◇　京城太平通二丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇

小資本で出來る有利な副業の

呉服屋

どんな山間僻地でも織物の賣れぬ所はない一番面白い程賣れる實用的の副業で收入增加には一番適當な儲かる商業は織物の事だから外の商賣の樣に元も子も無くする樣な損の行く筈のない商賣=奥樣にも御老人でも上品で副業としては理想的の商賣=弊店は遠大なる抱負の下に到る處一町一村に一名づゝの特約店を設置し廣く普天の下卒土の濱に到る迄理想的東京織物を一手に供給せんとす弊店は此の事業の爲めに幾多の犧牲を拂ふ事を辭せざるのみならず永久特約店の利益を保護し相互に福利增進の道を開かん事を期す

特約店規定郵券二錢封入御申込あり次第進呈仕候

東京九段　久保濱織物チエンストアー　地方卸部

最新刊

書名	著者名	定價
圍碁獨創一週間速進法	鈴木爲次郎著	特製二圓二十錢也 並製七十錢
圍碁實力養成法	瀬越憲作	七〇
書指文規範及文例	坪內文學士	八五
朝鮮語の先生	崔在翊	一・二〇
小說雙目傳	[illegible]	七〇
支那語叢談	渡會貞輔	一・三〇
◎朝鮮農業寶鑑	高山徵編著	定價二圓五十錢
中學新書翰	今村鞆	一八五
作文軌範		四〇
鮮語階梯	[illegible]	一・六〇

京城本町　大阪屋號　電話[illegible]　振替京城二五七番

秋蠶種

特價金六拾錢　送料弊社負擔

京城府龍山　東蠶社

電話龍山六四番　振替京城二六二番

金銀賞牌廿四個受領

たとへ億万長者でも健康は絕對に金では買へぬ

只每食前一杯づゝの美味滋養

蜂印香竄葡萄酒は

味つて見て下さい

メキ〳〵元氣健康を增進す

美味=滋養=濃厚　全く他品に卓越す

東京本町　近藤利兵衛

自轉車タイヤの數は星の數ほどありと雖も如何なる道路も確かに安んじて使用し得べきタイヤは

ダンロップ

を措いて他に幾何ぞある

苟もタイヤを經濟的に使用せんとする人々は須らくダンロップを用ふべきなり…………

到る處の自轉車店にあり

ダンロップ自動車タイヤは各自動車店にあり

◎軍馬逸走して人を傷く

[illegible]

◇寺內首相の演說
新政會清和俱樂部所屬代議士招待晩餐會席上に於いて

寺內首相は新政會清和俱樂部所屬代議士を官邸に招待し晩餐會を開きたるが席上チ軍援助の事情、滿洲里方面に對する措置、滿洲守備隊の異動、西伯利經濟援助に關して國軍に述べ所謂滿洲里國境進出に關しては渡てより此の方面に急要すべき任務を負へる我派遣軍がセミヨノフ枝隊チ軍と協力するに於ては後貝加爾以東の安寧秩序を回復すること遠きに非ざるべしと陳べ米騷動に關しては近因は米價騰貴に在るも遠因は社會思想の變遷資富の懸隔奢侈の流行等に在り善後策としては遠因に遡りて施設すべきもの多く應急策としては物價調節を爲し國民生活の安定を得せしむるに在り內外多端の際諸君は社會の狀態を洞察し時弊の矯正に努め邦國の進運に貢獻せむことを切望すとの意味を演說せり（東京特電）

◇對米通牒と回答

此程我國より米國政府に對し或種の通牒を發りたるが右は米國の回答を要せざるものなりしに米國政府は五日極めて友交的なる復牒を寄せ來れり右は巷間流布さるる抗議的のものに非ず從つて是が爲に來週中に外交調查會を開く事無き由也（東京特電）

◇過派軍司令官の掠奪

極東過激派軍司令官サカフウイッチは軍命令書を以てシヤコフカ修道院の全財產を沒收する旨發表し財產保管委員二名を擧げ其の財產を悉く掠奪し去れりと（浦鹽電報）

◇聯合軍漸次西進
ボルツキー政府と交涉開始せん

某所著電＝聯合軍はハバロフスクを占領し漸次西進するに至りたればオムスクに存在するボルツキー政府と交涉開始するに至る可く同政府はチ軍政府とは既に聯絡あり尙デルベル政府とも一時聯絡ありしが目下中絕し居るより今後聯合軍其他が同政府に對する行動は注目され居れり（東京特電）

◇英軍サンカンタン著

英軍はエタンを奪取しサンカンタン東方に到着せり（巴里電報）

◇徐總統就任決定

五日于揖唐氏は徐世昌氏を訪ひ當選を報じ徐氏も是を受くるに決せるも慣例により一兩日中に各省に宛辭退の電報を發する由也（北京特電）

◇副總統選擧期協議

某所著電＝五日の支那副總統選擧會は出席議員法定數に達せざりし爲め流會となり出席者は談話會を開き副總統選擧期日に關し協議し六日參衆兩院聯合會を開き副總統選擧期日其他に就き協議する事となれりと（東京特電）

◇湯氏暗殺疑無し

既報湯化龍氏の暗殺は各所に正式入電あり事實疑ひ無きに至れり（北京特電）

◇奏任判任官に臨時手當

奏任、判任官に對し四割迄の臨時手當支給の件七日勅令を以て公布されたり（東京特電）

◇德川議長一行旅程變更

既報の德川貴族院議長一行は十四日東京出發神戶より乘船直ちに大連に向ひ奉天、天津、北京、濟南、青島、南京、上海等を視察し十月十六日頃神戶歸着の事に旅程變更されたり（東京特電）

◇滿洲線收入

滿鐵滿洲線八月鐵道收入約五十萬四千七圓本年累計一千六百八十五萬七千三百二圓也（大連特電）

◇大連滯貨夥し

大連埠頭の滯貨卅萬八千三百卅五噸にて尙增加の見込なり（大連特電）

◇支那米輸入有望

支那米輸出防穀令撤廢は不可能なるも徐州輸出特許は有望となれるより當局は樂觀し居れり目下の相場にては石當り神戶着三十圓位なるべしと觀測さる（東京特電）

◎平和論の勃興

[illegible]

◇揮發油値上

ライジングサン石油會社は六日より赤貝印揮發油一箱に就き五十錢方値上を發表せり（大阪特電）

◎本年夏秋蠶收繭豫想
前年に比し增加

本年の夏秋蠶收繭豫想當局發表に依れば本年は全鮮を通じ夏秋蠶飼育季節に降雨多く氣候不順なりしにも拘らず當局者の指導と當業者の周到なる注意とに依り能く其の惡影響を免るるを得たるを以て蠶兒の經過は甚だ良好なり桑樹は發育佳良なりしも近時未曾有の高價の騰貴は漸く桑葉の濫採を誘致したるを以て明春の發育不良なるを虞るる地方ありしも其の收繭額に於ては相當の增加を爲すべき見込なり今八月二十日現在の調査に依るに蠶種の掃立枚數十一萬七千六百四十四枚にして收繭額二萬二千七百八十九石の豫想なり之を前年に比すれば掃立枚數に於て九千七百三十七枚即ち九分收繭に於て二千四百七十八石即ち一割二分の增加とす更に累年比較及び大正七年夏秋蠶豫想左の如し

年次	掃立枚數	收繭額	對前年增減
大正四年	四七、三三三枚	六、八九六石	
同五年	六二、三六〇	一〇、四五三	三、五五七
同六年	一〇七、九〇七	二〇、三一一	九、八五八
同七年（豫想）	一一七、六四四	二二、七八九	二、四七八

即ち本年の產繭豫想高は春蠶九萬九千七百石夏秋蠶二萬二千七百八十九石合計十二萬二千四百九十六石にて前年に比し二割八分の增加を示せり尙各道別に揭ぐれば次表の如し

本年地方別夏秋蠶豫想

道別	掃立枚數	收繭豫想高	對前年掃立枚數	對前年收繭豫想高
京畿	一五、七〇二	三、六一八石	三、九〇八枚	一、〇一八石
忠北	二、九六五	四五〇	△一、二二〇	△六七
忠南	八、四〇五	一、四〇五	三、四一〇	六〇六
全北	六、九四五	一、一六八	一、二一一	三七四
全南	六、二一八	一、二四六	二、七二三	四三六
慶北	一三、一五八	三、五五九	一、九八八	四七七
慶南	一〇、四九一	一、九八六	二、三〇三	三九八
黃海	四、八二四	八一二	△八二一	六八
平南	五、四〇二	三、四〇七	△四、七一一	△二〇三
平北	一一、七二五	三、七二〇	△五五四	△二〇三
江原	一一、二五六	一、八五四	二、〇三九	二三八
咸南	三、三六八	九六八	一、〇四一	三〇四
咸北	四、二三五	二九二	五八七	[illegible]
總計	一一七、六四四	二二、七八九	九、七三七	二、四七八

備考 一蠶種は總て本地種にして二十八蛾分を一枚とす（△印は減）

道別	蠶兒發育狀況	桑葉の伸張狀況及過不足
京畿	良好	伸長良好過不足なし
忠北	同	良好稍過
忠南	同	伸長良好過剩
全北	概して良好	伸長良好過不足なき見込
全南	稍良好	良過不足なし
慶北	良好	良好にて稍過
慶南	同	一般伸長過不足なし
黃海	同	伸長良好過不足なし
平南	同	伸長良好過不足なし
平北	同	伸長稍良好不足なし
江原	同	良好不足なし
咸南	同	伸長良好過不足なし
咸北	同	伸長良好過不足なし

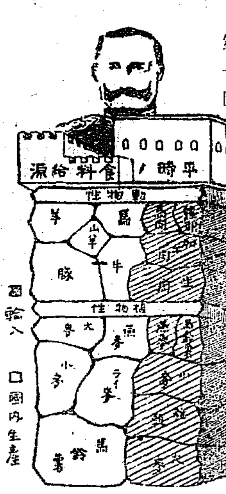
▽食料獨立と國家（イ）
革命の發端も食料より 某敎育家談

古往今來東西の別なく民は食を以て天となし食を以て神となして居る故に國にして食足らず食の分配宜しきを得なかつたならば外患なきも內憂のため其國危しと云ふ事になるのである故に國家が外獨立の體面を維持し內國民の

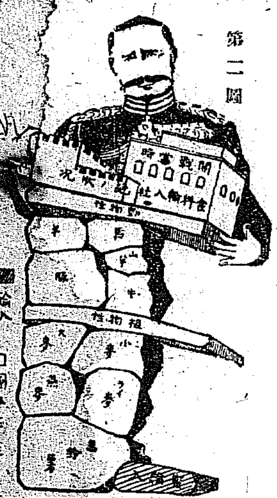
▲安寧幸福 を得んと欲せば必ず先づ食料の獨立を圖らねばならぬ事は自明の理である。即ち佛蘭西の大革命は食物の缺乏が動機となつて之を馴致したと云ふではないか當時僅一斤のパンを買はんと欲してパン屋の前に長蛇の列が出來た而も政府は拱手之を救はなかつた依て到頭三四萬の婦人は奮起して暴動を始め遂にヴエルサイユ王宮へと押しかけた夫が佛蘭西革命の濫觴なのである、這回の露國革命も甚だ佛蘭西の當年に似て居るではないか、米國は黃金の海嘯が起つて居ると云はるゝ程戰時に利得した國である而も敎育は、人口に於て

▲世界第[illegible]の現狀は何[illegible]に看過して[illegible]の研究は[illegible]り返され[illegible]と共に食料[illegible]の輪數を凌ぐ[illegible]め小暴動が續[illegible]いか、日本[illegible]動を輕々[illegible]食料問題[illegible]に係る重[illegible]は身敎育[illegible]國家の中

第一圖



第二圖



堅たる學生の思想上に及ぼす米價騰問題の如何に深きかを思ひ一般世人が眞摯なる態度で食料問題の解決に努力せん事を望み此機會に於て世人に訴へんとするのである今次の戰爭で最も食料問題に就て官民一致の努力を行ひ現に行はざるを得ざる國は獨逸である戰前獨逸の食料と

▲開戰當時 の狀態及び食料問題に對する官民の奮起等を見て他山の石とするも亦徒事ではあるまいと思ふ今之等を見易く圖で示せば戰前獨逸は第一圖の通り食料の平衡を保つて居たが開戰に依り輸入食料の杜絕と共に第二圖の如き有樣となつたのを以てしても如何に獨立せざる食料は國家を危くするかを知るのである然し逆に獨逸は僅かつた官民の奮起はよく此難局に處した、我官民は如何なる努力に依て食料問題に處したか研究を要する點は之である

◎八月下半月 倫敦金融狀況
（水曜鮮銀理事發電）

六日午前十一時半朝鮮銀行入電によれば八月下半月に於ける倫敦

▲金融市場 は概して金融逼迫せりコール三分一週間通知預金三分二厘五毛銀行手形割引率三分五厘商業手形割引率四分乃至四分五厘戰時公債は頗る好況を呈し株式市場活況を呈せり銀行通信錄の報ずる所によれば株式市場に於ける代表的證券の市場價格の總計は去る三月に於て二十五億九千二百萬磅なりしに今や二十七億千三百萬磅を算せりコンソル公債は五十七磅五志

▲英蘭銀行券 の流通高は三月廿七日に於いて四千七百八十一萬七千磅なりしに八月廿八日には五千七百六十一萬二千磅となれり、政府紙幣の流通高は三月廿七日に二億二千八百十二萬五千磅に過ぎざりしも八月廿八日には二億六千七百八十七萬五千磅となれり

▲中立國の市場 に於ける[illegible]金の値上げを要求せり

◎軍票引換高

朝鮮銀行の浦鹽松田銀行部ハルビン支店にては今回等が出動部隊の西伯利派遣に出北滿派遣にて使用せる軍票の銀行券引換を行ひつつあるが未だ出動後日淺く從つて軍票の撒布多からざるため鮮銀券引換要求も未だ多額に上らざるが目下の所浦鹽松田銀行部ハルピン元山兩支店の引替高約六萬圓內外なりと

◎軍需米 賣附好況

西伯利出征軍隊に對する軍需米の供給を朝鮮より行ふ事は屢報の如く朝鮮物產組合の手にて各地にその買米をなしつつあるが銀行の金融方面の援助當局の斡旋助力等あり加ふるに貯米筋も物產組合の需米買收申し込を一種の光榮となし進んで之れに應ぜんとする者各地に尠からざる狀勢に付き其の數同に分たる陸軍註文數量の調達は比較的安値に又豫期以上に敏活に行ひ得らるる模樣なりと

▲仁群の代表者 仁川の物產組合代表者は未だ決定し居らず目下同地當業者にて詮衡中なるが一兩日中に決定すべく群山は三井物產出張所主任同地精米組合長に推薦されし由に付同主任代表者たるべしと

◎鮮銀券 八千萬圓

七日朝鮮銀行券の發行高は七千九百七十七萬圓に達し八千萬圓の突破は近きにあるべく申請中の限外發行認可未だ來らざるため最近の膨脹は正貨準備の發行によりつつあるため同日の準備は正貨二千九百七十七萬圓保證五千萬圓なりき

◎本線不定列車運轉確實

鮮滿連絡列車の時間に於ける鮮內臨時列車運轉時刻中左の列車は運轉不定なりしも來る九日釜山南大門北行及び安東發南行より特別の支障なき限り之を運轉することゝなりたり

▲北行 ▲釜山發午後五時十八分▲南大門發午前一時三十一分▲安東發午後一時二十四分▲奉天著午前四時三十五分

▲南行 ▲奉天發午前三時一分▲安東發午後八時五分▲南大門發午後八時二十分▲釜山著翌午後五時三十五分

◎貨物輸送力激減

鐵道京城管理局に於ては特別輸送のため九日より汽車時刻變更に就き當分貨物列車共多大の混雜を見る可く殊に從來輸送力不足のため滯貨著しき局線の貨物輸送上に更に甚だしき影響を被るに至るのみならず同局に於ては今後の貨物輸送の目的は第一〇〇品及び食料品第二燃料即ち石炭となし餘力有れば其餘力を以て一般貨物の輸送をなす計畫との事なれば昨一層不便を來すに至る可く而して一般貨物の輸送可能なるとも頗る扱ひ及び斤扱ひ以外のものは之を取扱はざるが目下の狀態にては到底一般貨物の輸送は不可能の事なる可しと

◎東畜會社總會期

東洋畜產興業株式會社創立事務所にては申込み株主約百九十名に對し決定通知を發したるが第一回拂込[illegible]

◎京仁貨物列車

九月九日より當分の間仁川南大門間に於て南大門發午前三時三十分仁川發午後零時五十分の貨物列車を運轉し京仁間の列車減少による[illegible]を防ぐべし

◎朝鮮地誌資料

土地調査局の計畫進捗に伴ひ臨時土地調査局に於ては逐年行ひ來れる各種調査事業の成果によりて附帶事業として全朝鮮地誌資料の編纂をなすべく委員を局內に組織し夫々資料の蒐集整理を進めつつあり多分來る十月末頃を以て終了都合上公刊して關係方面に配付すべく公刊せざれば[illegible]資料の取扱ひに就ては理學博士山崎直方氏等の意見を聞きて參考とし各方面の調査は精確にして新奇の發見多く一度その調査の公表さるるに至らば從來の地誌書は[illegible]究者にとり絕好の參考書たらんと

◎[illegible]

[illegible]

◎軍司令官歸任

西鮮部隊巡視のため出張中なりし軍司令官宇都宮太郎中將は同地巡視を終へ七日午後七時十四分山本高級參謀並に野村副官帶同龍山驛著歸任せり

◎松木聯隊長著任

新任步兵第七十八聯隊長に補せられたる松木直亮大佐は陸軍省軍務局の要衝に在りたる爲め時局多端の[illegible]

◎鑛業登錄（自八月廿六日至同廿八日）

▲鑛業權設定

金銀鑛 六十四萬六千三百三十五坪 江原道[illegible]郡新北面 [illegible]

鐵鑛 七十六萬六千二百四十九坪 京畿道[illegible] 武末要助

同 九十三萬八千百八十四坪 [illegible] 許[illegible]

[illegible]

▲鑛業權移轉

黃海道延白郡雲山面 同遂安郡公谷面 平安南道順川郡 成鏡南道長津郡 [illegible]

▲共同鑛業者脫退

慶尙北道英陽郡 忠淸北道永同郡 黃海道松禾郡雲遊面 [illegible]

◎[illegible]募集規定

[illegible]

鳥瞰雜俎

▲烏蘇里方面でも滿洲方面でも戰が始まつた方面でもボッポッ空中攻擊戰が始まり相な說がある▲扨て何れ程の事があるか未だ分らぬが空中戰は何と云つても歐洲戰場が本場だ▲從つて飛行機が種々の技術を盡して働いて居る事は想像以上らしい▲佛軍の一個大隊がブールシーで退路を絕たれた時など彈藥食料が盡きて進退谷まつた事がある▲之れを知つた佛國飛行隊は直に彈藥とパンやビスケット肉類罐詰二百五十箱を搭載して味方の陣上に飛行して投下した▲斯くて該大隊は味方の逆襲の成功する迄持ち耐へて辛うじて敵の擊殺を免れることが出來た▲日本の飛行機も實戰に出逢ふのは今回が始めてだから隨分立派な功名を現はして貰ひたい▲而して平生の種々の評判を事實で示して打ち壞して貰ひたいもの▲斯くて日本飛行機の實力が現れたならば將來の飛行界には貴重な後光が差す事になる▲青島戰爭には海軍飛行機が大分腕を見せたが今度は是非共陸軍の方にウヽと遣つて貰ひたいものだ▲浦鹽派遣の英佛軍も日本軍と共に大分働いて居るが何と云つても日本軍の勇敢には及ばぬ▲先月の廿三日から廿五日にかけてのクラエフスキーの戰鬪に於ても▲聯合軍の陣立は英佛兩軍を左右に配して日本軍は中堅を固めて居た▲敵は最初赤衞軍を眞先にし獨墺俘虜及びマヂヤール人が後方を固めて居た▲而して殊勝にも決死の態度で向つて來たので忽ち馬鹿にならぬ▲愈々銃砲聲が盛んになつて來ると英佛軍は何うしたかさと後方に退却したので戰場に殘つたのは日本軍のみ▲戰は酣になつて日本軍は躍進又躍進で最早味方の勝利と見込の付いた時分▲先程退却して居た英佛軍も進擊して來た此處で日本軍には約百五十名の死傷者が出來▲佛兵には七名チェックには十三名の負傷者を出した▲此結果日本軍の或部隊は敵の右翼を切斷して仕舞つた此の戰爭を目前にした某外國武官が▲何うも日本兵は豪過ぎると評したとのことであるが成程外國人の目から見ると其の勇[illegible]るかも知れぬ

仁川期米 後場先限一節二十四圓二十三圓九[illegible]

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 [illegible]家源次郎

特約販賣店 京城本町二丁目 電話長二九番 佐藤牧太郎

六日の晩は

あの太い

黃金館に一ぱいの人でした
◇新派……第二回潮の如く
◇十九篇……百萬弗の秘密
◇花浪節連鎖……劇中及場
は實に見ものです

京日案內

普通七號活字一行一回前金[illegible]
▲申込中後途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に[illegible]
▲非掲載は返信料[illegible]

黃金町二 帝國興信所

◎事務員採用 月收一人百圓 [illegible]品製造法一見出來必成功 見本金送四十七錢 東京深川西元町 國光社 希望者午後來所あれ

販賣主任採用 每戶に[illegible] 京城府明治町七一 林[illegible]三郎

砂金青金高價買入れ 京城南米倉町八五 徐相助

御一報次第出張可仕候 京城旭町一の七 中村分析所

鐵道貨物運搬取扱仕候 京城黃金町三 丸三運送組

看護婦及見習看護婦採用 希望者は自筆履歷書持參來談あれ 京城明治町七十七番地 中島內科醫院

◎電話至急買受度し 京城清進洞一七番地 河合忠吉（電話一八九六番）

恩給年金 低利長期 京城永樂町一 商品陳列館前十角 江州屋本店

分析室落成 依頼に應ず 京城黃金町一丁目 鑛物試驗所 長電話參四番

恩給立替 西村商會

瀨戶外科皮膚科醫院 京城旭町二丁目（舊三丁目） 電話二四九八番 醫學士 瀨戶潔（診察夜九時迄）

胃病ならイカイ胃散が一番

驚くべき薬効
イカイ胃散は一時的の消化薬にあらず、根本的に胃を強壯にし消化力を增進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺え、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく增加すべし
定價十五錢、廾錢、五十錢、壹圓、貳圓
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎藥房 振替大阪七七八番
全國藥店にあり

內外科 小兒科 花柳病 高井醫院 京城本町二丁目（郵便局前） 電話二一六番
院長 正六位勳四等功五級 醫學士 高井貞治（日曜祭日正午迄）
副院長 千葉醫學士 松崎正彥

株式の選擇は
公債株式現物問屋信託

銘柄	拂込金額	配當	時價
南滿鐵道	百圓	八分	百二十七圓
同新株	七十圓	八分	八十八圓
同第二新株	三十圓	八分	四十七圓五十錢
朝鮮新株	十二圓半	利益配當	二十七圓八十錢
京城電氣	五十圓	一割	五十七圓八十錢
朝鮮銀行	百圓	八分	九十一圓

右賣買共好相合有之候間多少に拘らず御下命之程願上候

京城永樂町弍丁目 電話壹九六番
九五商會 有田長

稻扱器 唐箕 萬石 籾摺臼 米篩及籾通
◎一般稻扱修理に應じます
◎慶尙南道稻扱修理傳習所（九月一日より開催）
朝鮮勸農商會 釜山本町二 電話長九六二番 振替京城一五四八

風流 料理 壽々家 京城本町二（有樂館東側） 電話一三八三番

銀鉛鑛 亞鉛鑛 鑛石買入
御賣込者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城黃金町二丁目百四十八番地 商品陳列館の下 信託業 鑛業 明星商會 電話二四六四番

◎中心を失つた 今後の露西亞
トロツキーが繼ぐか ケレンスキーの再起か

露國過激派の巨頭レーニンは社會革命黨の一婦人の爲めに受けた銃丸の傷が原因で倒れた、一説にはまだ生きて居ると云ふ事であるが假令生きて居たところで却々危篤だと云ふから取り助かるまい右について某露國通は語つて曰く

若しレーニンが死んだとすれば今後の露西亞及び諸方面の事情は什麼なるかゞ問題である何といつてもレーニン政府を造つた人だ大露國の

過激派の中堅 である、心棒である、而も色々と誤解もされて居たが近頃確に經綸家であり、理想家であり、信仰の能力のあつた人であるとが判つて來た、寡言ではあるが熟考の後には猛烈に獅子吼する人で、經濟の學識の豐な人で列信破棄を宣言した彼は四十萬の新しき味方を得た、大膽な不敵な

◈**理想家で** あり實行家である、彼は極端過言つて居る『我が事業は或は失敗に終るかも知れない而し自分は後世に理想の一部を實行せんとした計畫を書いて殘さねばならぬ現に書きつゝある』と此言或は彼の今日あるを豫知して居たのかも知れない、實際過激派軍は露國全體から見れば

漸く影が薄く なつて來て居り最近(一)チエツクが國內に勢力を得て居る(二)アルハンゲルス及ムルマン地方より聯合軍は前進して居る(三)根據地と賴むモスクワにも反過激派が起つた(四)聯合軍の一部は浦鹽に上陸して過激派を追うて居る(五)最近獨逸の壓迫が益々強くなつて來此等で過激派の勢力は漸次國內に

◈**凋落して** 來て居るレーニンの死に依つて或は過激派の沒落となりはしまいか、然しモスクワを中心として勢力の侮るべからざるものがある、此の兇變に依つて却つて其の一味のものは奮ひ起つか否や、起つとすれば先づトロツキー、カーメネフ、ジノウイエフ、ルナチヤルスキー、クルイレンコなどがあるが功勞上トロツキーが中心となるかも知れない露國の

革命には女が 附物でコロンター女史など云ふ熱烈な女がある、救濟省長官であつて世界初めての女大臣である、斯ういふのが隱れたる勢力の中心となる事もある、獨逸は此の際レーニンの死と如何なる關係を持つか此際矢先であるから獨逸が密に喜んで中心なき露國に更に毒手を揮はんとするか、此際トロツキー起つかケレンスキー

◈**再び旗を** 揚げるかそれとも匿れたる偉人傑士將た大革命の士が現はれるにあらざれば露國は更に混沌より混沌へと深入するばかりである、昨年十一月の始め所謂レーニン政府を組織して以來十箇月、露西亞は再び重力の中心を失ひ列國は更に新しき再眼を開いて環視することゝなるであらう』

◎少佐以下の 手當が出る
中尉以下は四割
—陸軍將校に—

陸軍將校の俸給は明治四十二年以來のもので殊に最近の一般的物價騰貴に當つては尉官階級や佐官下級の士官たちの生活難は一通りでなかつた草叢す屍と身を捧げた武人なればこそ仲間では不平も語り合ひながら公然と問題を起すには至らないもの、『貧乏少尉、遣繰り中尉、やつとこ大尉』とまで謳はれては

◇**軍國の名** にも係はる由々敷い不祥事と云はれても仕方があるまい其處で陸軍經理局長主計總監田中政明氏がたつた二箇月前現職に任ずると早々少佐以下の士官、准士官に臨時手當を支給する議を提出し種々に工夫した結果少佐と大尉とには俸給の二割五分を中尉少尉以下准尉、准士官及び判任文官には同じく四割を與へる事に略決定して近く勅令で發布される筈である

◇**少佐以下** の俸給宅料月額と手當支給後の月給とを示すと次の如くである

▲少佐(一級)百三十六圓五十錢(從前)百六十八圓七十五錢(手當支給後)▲大尉(一級)百〇九圓七十五錢—百三十六圓▲同二級九十四圓七十五錢—百十七圓二十五錢▲三級七十九圓七十錢—九十八圓五十錢▲中尉一級六十一圓—八十三圓八十錢▲同二級五十圓—六十六圓四十錢▲少尉四十三圓五十錢—五十九圓五十錢▲准尉一級六十圓五十錢—八十三圓三十錢▲同二級五十四圓五十錢—七十四圓九十錢▲准士官甲級六十四圓二十錢—七十四圓四十五錢▲同乙級五十四圓二十錢—六十六圓九十五錢▲同二級四十八圓—六十六圓四十錢▲同三級四十二圓廿錢—六十四圓八十錢▲同三級三十六圓廿錢—四十九圓四十錢

◎賣惜んで 檢事局送り
晉州の奸商後報

愛知縣幡豆郡福地村生れの大西太一郎(三〇)は豫て慶南晉州東城洞に居住し木炭商を營業中木炭の暴騰を見越し山淸郡矢川面德山なる大學林產木炭及び河東產木炭を

▲**一手に販賣** し居れるを奇貨とし八月七日限り品切れとなりたりと稱して一俵も賣らず同月二十一日に至り二十六俵だけを一俵一圓六十錢といふ高値にて販賣したる爲め其他の內鮮薪炭商亦漸次値段を引揚げ來る

▲**空前の現象** を呈するに至れるより晉州警察署にては大西を喚問取調べたる結果故意に炭價を釣上げたるものと認め保安規則第六條違反として處罰すべく一件書類を檢事局に送り同時に鮮人木炭商五名を嚴重戒告したるが聞く處によれば大西は

▲**山渡し一俵** 七十五錢、山より晉州迄の運賃一俵三十錢合計一圓五錢の木炭を突飛にも一圓六十錢で販賣し其間五十五錢も暴利を貪りゐたるものなりと同地方の有力者中には同人の所爲を憎む者多く警察署の處置を妥當と認め他の木炭商等は此事件後漸次値下げするに至れりと

◎東淸鐵道 罷業者
態度頗る強硬

東淸鐵道下級從業者の同盟罷業は今尙ほ熄まず二日に至り寬城子にも亦同盟罷業あり是等罷業者は自己の主張を貫徹し且つ收禁中の主謀者三名の解放せられざる間は何時迄も強硬罷業を繼續すべしと豪語し居れり

◎米國の巨船 ルシタニアを擊沈せる 獨艇長 捕る
佛艦の殊勳
英船を襲うて反對に擊沈

某所に達したる情報に據れば佛蘭西軍艦輸送船の某護衞艦は地中海に於て一英國汽船が突然敵潜水艇の襲擊を受けんとするを發見し該潜水艇に猛烈なる攻擊を加へて遂に其艇長以下を捕へ艇を擊沈したるが端なくも大正四年米國キユナード會社の巨船ルシタニヤ號を襲うて擊沈し一大悲慘事を演出せしめたる獨逸海軍少佐シユーエーゲルが件の艇長なりし事判明し嚴重なる監視の下に佛艦根據地に輸送拘禁したりとあり

◎物價の騰貴が 小學生を脅かす
千人の中外米を食ひ始めた者學用品を買ふ事の出來ぬ者が百六十人からある
事實は想像以上に悲慘

物價の騰貴が如何に子供の目に映じて居るかと云ふ事は既報の如くであるが、最近京城の某小學校が一千の兒童につき細密に調査したところに依ると昨今の物價(殊に米價)の騰貴は想像以上に可憐なる小學兒童を脅かし却々悲慘を極めてゐる、先づ

△**食物方面** よりこれを見れば一千人の兒童中

△一日三回の食事を二回に減じたる者卅名△副食物の量を多くして米穀の食量を減じたる者十一名へ石拔かず米を常食として居る者百六十五名△外國米を食ひ始めたる者百六十四名△麥飯を交へたる者百十二名△粟が廿四名△大豆を交へたる者八名△小豆を交へたるもの五十九名

と云ふ悲慘なる統計を示して居るが尙此外に一二時間も腹に溜まらぬ粥、雜炊のやうなものを舐めて漸く其日の露命を繋いで居る哀れな者が八名もあつた

△**次に金錢** 上から見ると授業料を滯納して居る者が十九名ある、必要に迫られて居る學用品を買ふ事の出來ぬ者が實に百六十名もあつた、之では如何に學校敎育の質を興やうと努力しても不可能な事である彼等を救護すると云ふ事は刻下の急務であらう、更に之れを休暇中なりその後に於る作業上より見るに、休暇中廉賣米を買に行きたる者が三百五十八名現在も引續いて買に行きつゝある者が八十二名ある、尙この外家計を扶助すると云ふので退學したものが七名ある、又

▲**敎師の目** から見て米價騰貴に起因する營養不良、成績不良と認むる者が十五名、この外確にその影響と認められる者が十三名あると云ふ事である、これについて校長は、學校でも近々兒童に外米を試食させこれを奬勵する積りであると語つて居た。

◎邦人卅名を虐殺
矢野枝隊方面敵の暴狀
—戶外より釘付にした上燒殺す

六日敦賀著浦鹽よりの歸朝者の談に曰く、我矢野枝隊と對峙する敵の殘虐凌辱は到底口にす可からざる程度に達し居れり邦人老若男女三十名避難して某家屋に入りしが過激派は戶外より釘付となし火を放ちて之を燒き殺したりとの噂ありと(敦賀電報)

◎愛國婦人會の 役員會

愛國婦人會本部では七日午前十一時から役員會を開いた出席者は副長國分夫人を始め持地、金谷、久方、芳賀、松永、梶原、關、中村、釘本の各夫人その他で二十五人、大橋主幹から山縣本部長の挨拶を傳達した後左の事項を決定した

一、〇〇國大部隊朝鮮經由に對し〇〇の開始當日より龍山に於て役員其他一般會員交替に出張り歡送迎に努め夜間は本部事務員詰切り歡送迎に從事すること

二、本部直轄內出征軍人家族慰問の件は〇〇〇〇の歡送迎を終りたる後役員中當番を定め市內各戶訪問に當ること

三、出征軍人(海陸)慰問の爲廣く慰問袋を取纏むること其時機は本部に於て見計らひ一般に通知し袋縫ひ等は各役員其他有志引受くること

▼**各夫人連の 外米試食會**

役員會が終ると外米試食會が開かれた二十五名の夫人が殘らず食卓に著くと大橋主幹から『外米の炊き方』に就いて一應の說明があつて食卓は時節柄頗る質素なものであつた、格別御馳走とてはなかつたが想像して居たよりは外米の御飯が美味しいとて何れも『外米だね』と言つて風愼やかに箸を動かしつゝも外米に對する批評や試食感といつたやうなものが出て大いに賑つた、斯くて目出たくお開きになつたのは午後二時であるが餘り結構なので家族にも食べて貰ひたいと思つてか、歸りには何れも一袋(一升)宛提げて居たと云ふ

愛國婦人會員の外米試食

浦鹽の印象 (四)
機敏な米國
金谷從軍記者

△スウエトランスカヤの凱旋記念門の上に浦鹽を初めて占領したアドミラル、ザボイコの銅像がある銅像の巨人は遠く東方日本海を睨んで立つて居るイルクツクには露國の東方經略に偉勳ありしムラヴヰヨフ、アムールスキーの銅像が赤東方に向つて立つて居る、露國の銅像がすべて斯く東方に向はれては日の出國の人々には聊か心配の種である、しかし昔日のやうに本國が忙しければこれ等銅像の偉人たちも『廻れ右』をしたら什麼もので御座らうか

△われ等の宿舍にある日大連の某氏が立寄られた、その人は長春から哈爾賓に出て同地から浦鹽まで二日を費して來著したと語られた汽車中の樣子を訊くとこイヤハヤお話にならぬ混雜さで一等車には二等三等の切符を購うた乘客やバスの者ばかりが押寄せてギユウ／＼詰にせられましたとの返辭、滿洲に居た自分には哈爾賓や長春の名がなつかしく且つ此處からはお隣りのやうに思はれる

△お隣りと云へば浦鹽と北鮮の淸津とは僅々十數時間の近距離に過ぎぬ、國境圖們江はまた近い、これで朝鮮の人殊に元山や淸津の人々が活動せなければ嘘だと思ふ、聞けば淸津の實業家の面々も澤山に來て居り元山の舊知の中には近藤氏、杉本氏、池田氏、鈴木氏などが活動して居られるやうであつた、朝鮮から輸入する品は主に米と鹽、鹽は沿海州の漁場に仕向けられる、浦潮から朝鮮に輸出するものは鹽鰊位のもの猶ほ日本內地仕向の大豆、豆粕、材木等は以前から有名である

△日本の軍司令部は高い小山の頂邊にある、米軍の本部は賑やかなスウエトランスカヤの街にある、チエツクも便利な場所に居る英軍や佛軍は主腦がウスリー線に出かけて行つたが支那の兵隊も二三日中に來著し伊太利兵も近々上陸の筈米軍は今のところ眞先かけて戰線に行かうとは思はぬらしい

△中折帽に輕快な短袴で町を步き廻りながら頻りに赤十字の救護班や軍需の自動車が活動して居る、而して米本國からの滙運を一層便利にする爲め最近加奈陀經由の浦鹽航路を開き既に浦港に代理店を設けたとの事である、兎に角米利加は西伯利亞の如何なるものかをよく了解してゐる

◎空巣狙やコソ泥が多い
留守番は必ず置くこと 屑買の聲にも油斷すな

近來空巣狙ひやコソ／＼泥棒が多くなつた、之に就いて某警部は語つて曰く

『盜みをするやうな者は出來心と云ふよりも一般に先天的に盜癖性を享けて居るのが多いらしく、盜みの方法も各自專門があるので空巣狙ひ、板間稼ぎ、萬引、夜盜、掻浚ひ、コソコソ泥棒など皆別れてゐて、研究の結果でなくては正確な事はいへぬが物價騰貴や

▽**生活難** の爲めに盜みをするのは極稀である、空巣狙ひは絶ず市中を徘徊してゐるが、人影一つ見えない留守の家を四軒見出ても、其內の三軒は何うしても這入り惜く、他の一軒は何ういふものか這入りやすくて三軒とも同じ位に這入つたといふ事がある位だ

▽**一年中** で被害の最も多いのは春先と秋口である、陽氣がよいため家內中留守にして外出する家が多くなるのも其原因の一つだがまた一つには此の季節が恰度著更へ時なので贓品もよく捌けるからであらう、それで彼等は鵜の目鷹の目で狙ひ步くのだ又同じ

▽**空巣狙** でも盜む品の種類に專門がある空巣狙ひは留守と承知して悠々仕事をするから貴金屬類とか寶玉類とか上等の衣類など金高の物許りを選拔いて行くから被害件數は尠くても被害金高の多い事はこの空巣狙ひが一番事件の多いのはコソ／＼泥棒だ

▽**豫防と** しては唯留守にさへしなければ宜いので全然留守にするよりも近所隣へでも賴んで出ると、その人達が時折注意して呉れるから幾分這入るのに躊躇するだらう、また家庭に留守居がゐても玄關先の開いた時、物貰ひが來た時

▽**屑屋が** 聲を懸けた時などには注意しないと彼等の仲間には返事の無いのを付け込みましたりと靴、下駄、洗濯物などを持つて行く者がある』

◎平元自動車
試運轉良好

二十日から愈々開通の平元間自動車試運轉は六日午前七時平壤を發し午後七時半著元し成績好結果なりき右自動車は七日元山に滯在し八日歸壤の筈にて愈々本運轉を開始するは來る廿日頃なる可し(元山特電)

☒救濟會寄附

金五十圓 男爵李根湘
金二十圓 金圭源
金二十圓 金圭欽
小計金九十圓
累計金八萬九千八百六十六圓二十錢也

◎廉賣と施米
六日の狀況

京城救濟會に於ける九月六日の廉賣狀況を聞くに石不拔米に在りては一升二升券を通算し百八十石九斗二升此の人員一萬三千四百七十六人外國米に在りては一升二升券を合算し七十三石七斗七升此の廉賣人員六千百九十名粟に在りては一升二升を通じ廉賣石數四十七石六斗此の人員三千七百十名を算せり而して廉賣當初よりの累計に就いて見れば石不拔米四千四十三石一斗二升廉賣人員二十二萬七千六百四十五人、外米八百八十六石五斗、同人員百五十三石、粟三百九十石九斗四升二合、五千三百二十五名を示せり又施米に在りては內鮮人を通じ米一石五斗、粟一石九升を二千二戶七十人に施與し累計施米粟各五十石に對し二千百四十九戶人三千百十三名を示せり

讀者文藝（一等には五十錢）（の書籍券を贈す）

▲謎 新刊書

◎年の暮の果物屋と解く心は密柑(未刊)もあり金柑(近刊)もある（一等） 京 夜之助

▲花嫁と解く 心は來る早々批評される 利川 源 生

▲婦人と解く 心は衣裝(意匠)が大事 牛頭 芳 月

▲酒の醸造と解く 心は醱酵(發行)して初めて出來る 京城 邦 水

▲貸屋の小僧と解く 心は段々商賈(紙質)が惡くなる 仁川 西ヂヤン

◎城院長嚴父の訃

法院長城數馬氏の嚴父城太郎氏は豫て病氣の爲め相州鵠沼に靜養中の處七日午前一時三十分遂に永眠せりと

△京都見物（二）
內地見學團より 教員養成所生徒 堀川生

大阪行の電車に乘つて桃山御陵に參拜す、御陵は伏見町の東南、停車場を去ること約十五町、舊桃山城址に在る此の地は元、文祿年間豐太公が城を築きたれど關ケ原戰役後は廢毀せられて荒廢に委せられて居つた、大正元年八月明治天皇の御陵は本丸跡に同三年八月昭憲皇太后の御陵は名古屋丸跡に定めさせられ松柏鬱蒼たる森林を開拓して今の神聖なる御陵域となされた

明治大帝の洪大無邊なる御聖德を仰がんため參拜する者引きもきらぬ有樣だ、次に乃木神社に參拜す、桃山御陵の北部にある淸洒な社殿は即ち將軍の居宅、一間を有する小屋を模したる中に父母及び將軍の木像を置かれ直ちに其の生ひ立を偲ばしめる其他、日露の役に於ける戰利品陳列所及び當時將軍の本營たりし兩屋を滿洲の野から移したものがある。赤誠の一斑を窺ふべく十分だ。祠には愛馬二頭の銅像を置いてある。

三十三間堂に詣る 後白河帝の建立に係り方形の構造で南北六十六間二間毎に柱ある故三十三間堂と云ふ 本尊は千手觀音 中古建築の優なるものである此處から豐國神社へ、耳塚を經て淸水寺に登る、道の兩側の店に淸水燒を竝べて居る。寺域高燥にして眺望極めて良く、加之寺務の黨は凉しく此處から圓山公園を經て知恩院に詣る。

山門の壯觀、山門の壯大は東山第一の巨刹である 本堂には圓光大師の自作木像を安置し、大谷寺の額は後奈良帝の宸筆である 又本堂東南居相の傘、鶯張、大杓子等有名である。智恩院のお茶で辨食して解散（二十六日京都にて）

謹告

明九日より當分の內列車運轉時刻變更の爲め從來三洞本紙を發送致居候地方は一同發送となり郵送の分は場所に依りて一日延着相成るべく候へ共事情諒に止むを得ざる次第に付右御承知被下度候

京城日報社

仁川米豆取引 七日の十一月限

合ひ結局九錢と頭重き成行きを示して敗會せり

帝國醫科大學特命製劑 黴毒淋病で當惑する人に 赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は効力卓絶にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善良法なり
無代進呈 ハガキに必ず病名を記して照會あれ彩色圖入の詳細解說書非賣品を直に秘密送呈す
東京市本所向島小梅町二三 東京藥化學研究所

地方で拾圓の品を產地にて五圓で賣外一
物價調節現 注文に限る 買物は產地へ直接
大島銘仙 縞銘仙 縞綿兵兒 縮緬兵兒 セル 大島絣 桐生織物 注文 男女の別年齡をハガキで申込ば引替にて親切に送ります

時計 仁川 貴金屬 眼鏡 製作 販賣 本町

左官建築材料
セメント 石灰 硅藻土 火山灰 左官材料一式 各種色土砂 布海苔 苆 各種塗料品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 建築材料種々 各種耐火煉瓦 煉瓦 土管 瓦 各種苆類製造
京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 平壤小野田セメント株式會社製 石灰特約販賣 九州火山灰合資會社特約販賣
京城旭町一丁目 電話九八四番 卸商 戶澤商店

百円進呈 りん病 ばい毒 (藥合請) 帝國醫科大學病院 分析料百圓 にせ物 有田鑑製 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部 大阪

純良清酒 大塚合名會社京城支店 京城南大門通二丁目

新荷著 懷中時計 インゲレッシー商會 本店京城本町二丁目

妻の心（八十六）

十四の五　小林蹴月作　武内桂舟畫

『ほ、ほ、ほ、そりや御戯談で御座いませう。現在彼の通り立派にしてお在遊ばす奥様を其方除けにして、貴郎の令夫人になりたいなんて……假令奥様と妾との間に何のお約束致した事がないにしましても……妾、それほどの悪黨では御座いませんのよ。嘘にでも、そんな事を被仰れば、妾、綺麗淡白とお斷り致しますわ。』

成る程駒子としては、道理にでも令夫人になりたいなど云ひ得べき筈がないのみならず、彼女の氣風として、眞個そんな野心も慾望も包藏しては居らぬのである。駒子は、是でも江戸ッ兒の片端ですよと、云はぬばかりのきつぱりとした調子で、一も二もなく斷つて了つた。

と、町川は、見る〳〵四い頬桁を膨らして、左の肩骨を山のやうに聳やかしたが、眼の色は勿論鋭く光つた。

『駒子、お前の眞意は明かに分かつた。折角僕が有り丈の親切を盡して、お前の爲め好からうと思つて、相談を仕掛くるのに、然う云ふ冷淡な挨拶を爲るとは、不都合ぢやないか。お前は、元來僕の爲めに僕の屋敷へ來たのではなくして、禮子の間諜となつて、僕の側へこびり附いて居るものとほか思へんが、今の返答に依つて、愈々それを確かむる事が出來たと云ふもんだ。』

『貴郎が怒うお取りになるなら、それでも致方が御座いませんのよ。元々妾の方から是非にとお願ひして落籍して頂いたのではありませんでせう。本統に彼の禮子さまがお氣の毒だと思ひましたからこそ、及ばずながら……。』

『宜しい。分つたと云つたら、後は云ふに及ばん。それ程お前が貞子を勵はる心が厚くて、僕に對する誠意が薄つぺらであるなら、僕も今日以後覺悟がある。』

『お覺悟と申せば、妾にお暇でも下さると云ふこつて御座いますか……？』

『莫迦を云へ、大金を出して落籍したお前ぢやないか。二月三月で暇がやられるか。』

『では、妾を什う遊ばさうと云ふんで御座います。』

駒子も、稍焦慮らしい聲で云つた。

『什う遊ばさうと僕の胸中にあるこつた。』

『大概又、芳子さんの方へでもお越しになつて、お宅へお歸り遊ばさないお了簡なんで御座いませうが、そんな事ならば、妾も飽までお供を致して參つて、何も彼も充分に見屆けない中は、引退りませんわ。』

『勝手にせい。貴様は貴様で、禮子から囑まれて居る任務さへ果したら好いんだらう。』

お前と云ひ馴れた詞が、遽に貴樣と變つた丈でも、怎麼に町川の腹立加減が烈しいかを知られる。

『勝手にせいと被仰れば、尚更勝手に致すより外御座いませんわ。』と、駒子は、益々例の負けじ根性を面に現はし、

『では御座いますけれどもね、旦那様、そりや貴郎のやうな苦勞を遊ばしたお方にも似合はんと申すもんぢや御座いませんか。元來が貴郎お金の力で、眞の愛が貰はれる筈のもんでは御座いますまい。それを強て、貴はうと遊ばす丈が野暮の骨頂と申すもんで御座いますわ。口廣い事を申すやうですけれども、貴郎には矢張り禮子さまこいふ貞節の御夫人がお在り遊ばし、天とも地とも杖とも柱とも、貴郎お一人を信頼してお在になりますんですから、その禮子さま以上に、眞の愛を捧ぐる女をお求めになつた所で、そりや到底金の草鞋を穿いて切らしても無理な御注文といふもので御座いますわ。野に鳴く雲雀を捉へて、籠の中に入れたからとて、それがその日から直囀りますでせうか囀りませんでせうか。ほ、ほ、ほ、旦那様、少し冷靜にお考へ遊ばして見るもんで御座いますよ。』

駒子自身も、即ち野に鳴く雲雀樣であることの宣言なのである。理窟と云へば、確かに理窟には違ひないが、滿を引いた矢の、的を外れた町川には、頓とその譯さへも耳へは止まらぬのである。

『喧しい。誰が貴様に愛情の講義せよと頼んだ。』と、大喝一聲。短慮の満面には既や血を濺ぎかけたやう。

文展作品調

洋畫と日本畫　尾竹の兄弟の大作

文展も一箇月餘の時日に差迫つて美術家連は何れも製作を急いでゐる先づ日本畫方面では

★**金鈴社の** 鏑木清方氏は潮打ち寄する砂丘を背景とした美人畫を六曲一双に描きつゝあり松岡映丘氏は絹本構物で山水花鳥に人物を配したもので題は未定ださうである尾竹三兄弟中長兄越堂氏は六曲一双に鬱蒼たる竹林と黄色に咲いた

★**山吹に圍** まれた腰が家を眞中にし主人公を出ださずして太田道灌の山吹の里の情趣を出さうとしたもの、竹坡、國觀兩氏は共に逗子や森ケ崎に隱れ苦吟しいものに手を著けてゐることだけで消息は杳たるものだ川合

★**玉堂氏は** 梅を中心とした三尺に七尺の竪幅、結城素明氏は六曲屏風に寫生を十幕にしたものを描いて居るが未だ完成はせぬ此他田中頼璋氏はお得意の山水を絹本四幅に池上秀畝氏は桃山時代の四季の花鳥、野田九浦氏は

★**六曲一双** に孝靈四年富士山出現の大景、川崎小虎氏は谷を俯瞰する山頂の社に祈願してる女を描きつゝあつて大體出來上つて居る、洋畫家連では和田英作氏が前々から評判の法隆寺『壁畫落慶圖』を竪六尺五寸に横一丈四尺と云ふ

★**大物を急** ぎつゝあるのを筆頭に中澤弘光氏は二百號別の大カンバスに光明皇后を題材にした美人畫を描き引續き岡田三郎助氏は『合歡の花』と題する半裸體等身の美人畫で畫面の地色は淡黄色で其處に圓顔の女の目が空の彼方を凝と見つめてる譜で青春の遣瀬なさを現はしたものださうである、石川寅治氏は百卅號に『南國の港』と云ふ題で眩惑するやうな強烈な彩りで臺灣打狗埠頭の夕凪を描き上げて出品期を今や遲しと待ち構へて居る、太田三郎氏は清楚たる朝鮮古代の女が野遊を逍遙する所を素朴な筆ぶりで六尺四方の大物に、中村不折氏は文珠菩薩と獅子を描き題して『智の閃き』と云ふのであるが大體に於て日本畫より洋畫の方が餘程進捗してゐるやうだ

梨

五の日十の日會

○　浮碧樓
梨をむく眼の正しさに言ひ寄らんとする
梨の一片を食はんとし親しみのうすらぐは

○　芹　郎
梨の皺くろくねむたさ重なくる晝
この梨も袋をかぶる憩ひの手首を乘らした

○　眞　三
女も私も眞面目で夜更の梨を噛んだ
午砲が鳴つたでみんなして梨棚を出て來た

○　清耳樓
ひとの梨籠にふれ手荷物上ぐる
梨の夜の中の梨つかみ肩ゆすぶるなり

○　阿岐良
梨畑の足裏の露けきに馴れ
午後あかるく梨畑梨が貰れてゐた

○　眞　俊
眞晝山から下りて來たこゝの青梨

○　鳥　堂
まのあたり低き樹の梨をちぎらんとする
梨のあがりで一枚づゝも著せることか

坡柳子選歴

○　不孝郎
或る男のトマトー喰ふさまで八月を知らず

○　坡　柳
梨の蝕の大きいのに氣いてでした
炭を貰ふべくあまりに野菊が蝕ぜんでしまつた
泊めてもらふことにして梨をもてあそぶ

鷄林同人會第二十六回詠草（二）

波

岡　忠孝
底知らぬ淵のしづけさ石うてどただ小波のよるのみにして

○　平山ひさ子
うち向ふ島根によする波白し今日さへ沖は風あらくして

○　同　人
我庭の池のほとりにたたずみてただ小波な見つゝわれなり

○　岩本　愛子
かもめたつ磯の松原ほの白し明がたの空見ねて波のほ

○　坪内　孝
今日も又風つよからし磐まだき山良の港に波立ちさわぐ

○　佐々木信一
我が乘れる船のけぶりにおぼほるる海のおもてに見ゆる白波

○　松田　甲
碎けてはまたうちよする白波の男々しき心われも持たばや

○　吉武　貞世
四方の海しづかにはれて甕なる龍の宮居も見ゆるしき波

○　田淵　數
物凄し犬吠崎によせきては岩にくだけてかへる大波

新刊紹介（到著順）

▲**遞信地圖**（遞信局藏版）　本年度現在の朝鮮遞信地圖として遞信局關係官廳の大幅にして其正確なること は特に發行に仕立て又は額に掛けて室内の装飾用に適せり（一四京城本町大阪屋號）

▲**現在の圖案工藝**（五一）　彩色畫其他の精巧なる裝飾的圖版十葉を別に挾入となし記事には斯會に趣味を有する人の見逃すべからざる新智識評論時報消息等あり（三十五錢東京赤坂青山南町二の四〇北社）

▲**最新書式大全**（京城日報社編）　官廳へ差出すべき屆書、申請、訴狀、願書、民事及商事に關する登記、契約、通知、催告、答書を初め刑事に關する同法規關係の書式より朝鮮、輕鐵、水道事業、道路河川土工、郵便電信等に關する書式、土地家屋、諸稅、一般營業、市場、水產、農林、銀行、鑛業、度量衡、特許、意匠商標、實用新案各法關係事項、恩給、年金等、新聞紙各條例、出版法、著作權其他遺失物埋藏物關係鑛獵山林、森林國有、婦人、藥種業銃砲火藥關係規則等を網羅し其他各般の書式並に入學願書並びに證書、遺言其他一切にわたり、書式に於て書式に対し一々關係法規を摘記して詳細に樣式を示したるものにして卷末には諸學校入學に官吏の受驗參考事項及び書式等を網羅したるを以て法律家、實業家、教育家其他各階級を通じて此書を座右に備ふるは最も必要なる事ならん。總六號活字四六倍版日次以外八百二十五頁（三圓　京城日報社代理部）

▲ホトトギス（九月號）　發行所の庭木（虛子）小犬（さしな）新聞（宮下喜太郎）父の臨終（青峰）編（石鼎）山の學校（夢明）集配人（香鶉子）大津の話（洛石）渾の郵便の腹（霧魄居）其妻のピヤノ（温亭）ペンを持つ築み（鏡石）余が著作の態度（青風）根岸花祇園の思出（征春）評論史（花内）俳諧儀帳（虛子）俳道に入るまで（花雨）俳句入門欄（虛子、石鼎）はじめ（商詰雜咏其他）鳴雪・虛子の俳談、其角研究（諸名家）其他俳句作等（六十錢東京市京市谷長藏町二十二ホトトギス發行所）

▲鮮滿乃工業（九月號）二十五錢　京城旭町一の七一鮮滿の工業社

▲日本魂（九月號）二十錢東京京橋南鍋町三の七五八日本魂社

▲大帝國（九月號）十六錢東京芝區琴平町二大帝國社

▲農業世界（九月號）二十二錢東京日本橋區本町三丁目博文館

▲考へ方（九月號）二十一錢東京神田區北神保町十三考へ方研究社

讀者の領分

▲温泉保養に出掛けて…七十八圓除は金澤は讀すにて龍田也（氏）

▲…の龍山生に對して…の儀に就ては實に了解に苦しむところを待す今更らいらざる言論を弄するより貴宗の活動手段を改善するの必要あるは時節柄萬人の認むる處なり貴下如く「迷路に移り安き徒をして宗教の深秘」に教道布化するの法」小生思ふに御手前拜見と言ひたくなる（橋見生）▲俺は今流行するハイカラ共は大嫌ひやあの南瓜頭に油を塗つて西洋紙の様なペラ〳〵着物を裾に掛けてゴム草履をズツパ〳〵ひきずつて歩るく奴を見ると蹴爪の五つ六つも見まはしてやりたい程だ東を見ても西を見てもこんな奴許りのばつこするのは金の世の中ぢや俺は心細くなつた（右眼近視生）▲一石の兵隊人にいふ、舘跡點呼令狀を頂き行又は退去するも依然令狀に指定の期日に點呼を受くるものとす、旅行先又は在留地變更地に於て參會するの途なし（軍司令部）▲近頃の樣に白米一升四十錢以上もしては實際やりきれぬ夫れさて廉賣券の恩典に浴せざる者は外米混食か度し外米食獎勵や研究法は新聞や雜誌等にて盛んに御勸めになりますが京城市民一般の者に販賣し居る所を見受けませんが販賣致居處あらば本紙にて御教示を願ます（外米買度生）

▲廣　告▼

○いろは順に出ます切つてためて下さい○

いろはカード　金言

い　消化と毒けし　仁丹　三輪井上 兩博士御方劑　本舖 森下博藥房

さ　再思は最も價あり（西　諺）

き　勤勉力行漸を以て大成せよ（福澤諭吉翁）

氣候が不順でも惡疫が流行しても恐れぬわけは……

美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインを

毎朝毎夕愛飲してるからです

朝夕の一杯は百藥に優る！

夏の肌荒を整へ

ホンノリ色白くなる

レートフード

レートフードの強精分は日に焦けたお肌を整へて素顔を眞底から美くしく致します

レート本舖　東京　平尾贊平

尼崎汽船出帆

下關、大阪行　大有丸　月　日後四時出
第二太湖丸　月　日後四時出
群山、下ノ關、大阪行　秀吉丸　月　日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行　君が代丸　月　日後四時出
仁川海岸通一丁目（電話五九番）高杉回漕部

釜山出帆廣告

◎汽船 元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　月　日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　月　日後四時出
◎天須奈臘原博多行　眞佐丸　月　日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

寫眞

寫眞用亜鉛撮影　寫眞銅版、亜鉛版　熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御註文に可應候

京日寫眞製版部

大阪商船出帆

神戸、大阪行（仁川出帆）△日清丸　月　日　後五時出
群山大阪行　安東丸　月　日　正午出
木浦大阪行　×信濃丸　九月　五日　正午出
西湖津淸津浦城津行（元山出帆）◎安平丸　九月　八日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　◎安平丸　九月十四日　後九時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）●湖北丸　九月十四日　前六時出
●基隆丸　九月　日　後四時出

日本郵船出帆

◎大連、天津行　相模丸　月　日
酒田丸　九月十二日正午出帆
高砂丸　九月廿七日正午出帆
仁川海岸町二丁目（電話十番）堀回漕部

共同汽船出帆

河波 大連直行（關東都督府命令航路）共同丸　九月　六日後入港　七日前出港
朝鮮鐵道主要驛にて商客連絡接續取扱　大連にて青島行定期郵便接續
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　堀　回　漕　部

朝鮮郵船出帆

天候船積の都合に依り發航日時變更スル場合あり

◎雄基行（咸鏡北道各港經由）越後丸　九月廿四日　元山發
◎浦汐行　九月廿二日　釜山發
平安丸　九月　七日　淸津發
◎元山雄基線　三浦丸　九月　九日　元山發
◎大阪行　越後丸　九月　八日　元山發
◎金剛山遊覽便　三丸　九月　七日　元山發
◎釜山浦項線　金海丸　毎日　釜山發
◎濟州島行　西廻　慶興丸　九月十一日　木浦發
東廻　公州丸　九月　九日
◎釜山麗水線　海州丸　毎日
◎木浦麗水線　順天丸　九月　七日　木浦發
◎多島海行　公州丸　九月十四日　木浦發
◎海州行　南陽丸　毎日一回　仁川發
◎青島行　江原丸　九月　六日　仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社　京城南大門通　電話（二九五）
元山支店　釜山支店　仁川支店　木浦支店
京城南大門驛前　松原運送店

○下旬氣象概況　本旬は初めに朝鮮海峽を通過せる低氣壓ありて…なる天氣を持續せるが二十七日に三十七粍を最多として平年量の四倍…地の雨量及び氣温を示せば次の如し

…電あり目下之が眞否に關し照會中では二日傚に一個高の十二個の…る變化を惹起するやも計られず

…六日夜名古屋市西區入江町にて…砲の軍馬逃走市中を…